

# 総合戦略策定までの歩み

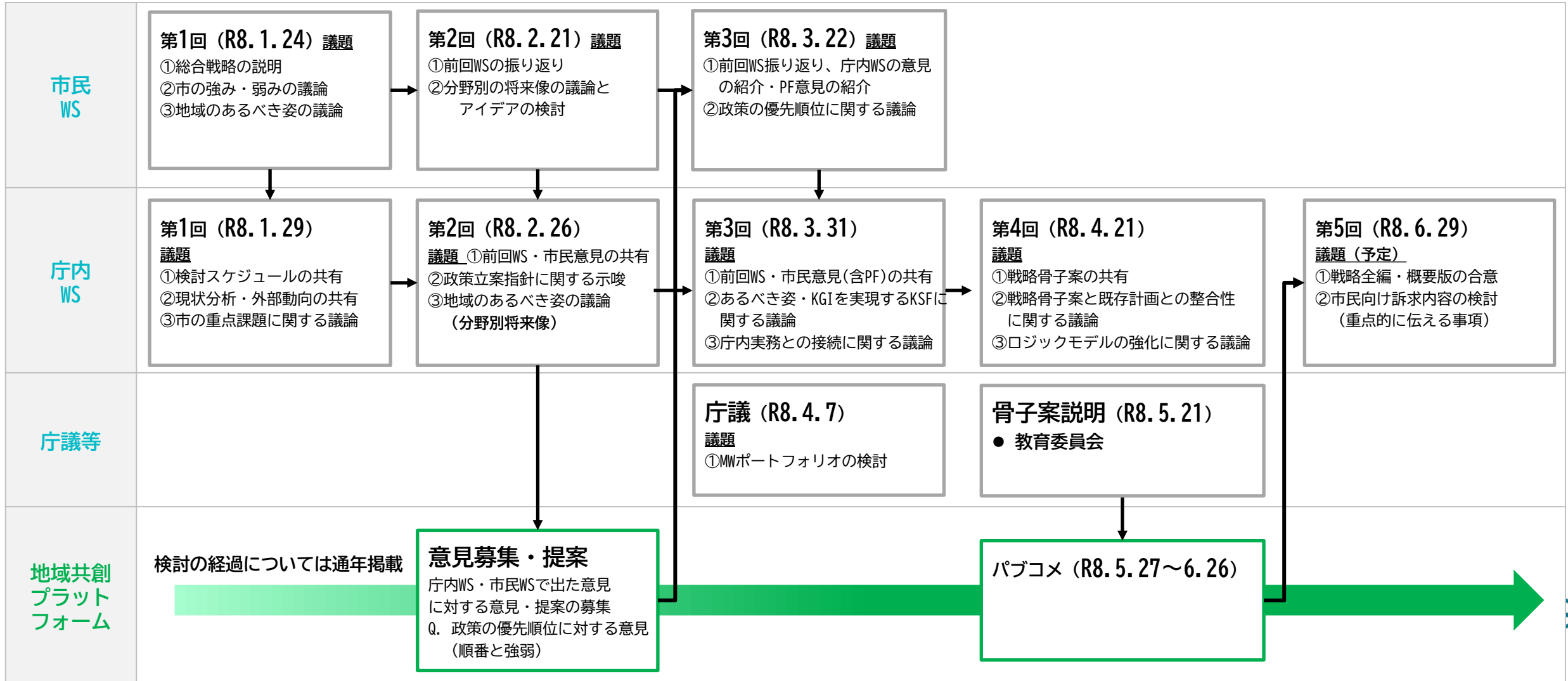
---



日野市

Hino City

# 全体スケジュール



# 第1回市民ワークショップ 「あつまれ！ひの戦略ラボ」

---

2026/1/24



日野市  
Hino City

# 第1回市民WS 「あつまれ！ひの戦略ラボ」

## ■ 開催日時

令和8年1月24日(土) 13時30分～16時00分

## ■ 会場

子ども包括支援センター「みらいく」3階 多目的室1～3

## ■ 参加者

公募市民15名／20名

## ■ プログラム

- ・ 趣旨説明「(仮称)第2期日野市まち・ひと・しごと創生総合戦略とは」
- ・ 日野市の現状と将来予測
- ・ ワークショップ「日野市の良いところ・改善点」
- ・ ワークショップ「日野の理想の未来像」「自分自身がやってみたいこと」



# 第1回市民WSのアウトプット

## 日野市の良いところ・改善点

- 自然環境・住環境・(マニアックな)エンタメ
- △ 駅前の活力不足・公共施設老朽化・「日野らしさ」の情報発信力

「取組の強弱」の検討の際に考慮

## 日野の理想の将来像

- ・ 豊かな自然と歴史を継承しつつ
- ・ 多様な世代が対話し、つながり
- ・ 活力の循環による共創が進む
- ・ 持続可能な都市

KGIとなるべき要素として考慮

2026年1月24日(土)  
13:30 - 16:00  
@子ども包括支援センター  
みらいく

あこまれ！  
びの戦略ラボ  
HINO Strategy Lab.

### 総合戦略 ワークショップ

2030年に向けて  
どんな日野市を  
目指す？

日野地改革推進ビジョン2030  
シナリオプロジェクト

Group Discussion ① 日常生活を通して感じる **日野市**の  
良いところ👍 / 改善点🗣️をあげてみよう！**現在地！**

- 👍 **程良く豊かな自然**  
市の鳥はカワセミ、見晴らしのよい河川
- 👍 **歴史的資産**  
高橋不動と新道組
- 👍 **医療の充実**  
市立/子ども医療費無償!
- 👍 **交通の便**  
JR中央線で座れる台
- 👍 **農業が盛ん**  
市民農園の利用者↑

Group Discussion ② 「日野の理想の未来像」💡と  
まちの理想の未来を実現するために... 「自分自身がやりたいこと」!

- 💡 **ひとりにさせないぞ作戦!**  
「みんな」で一緒にやる!
- 💡 **安心・安全な日野づくり**  
住民主体の調査・実証
- 💡 **「日野っていいなあ」と思われる**  
往環的なイベント・つながり
- 💡 **みんなが喜び合えるまちづくり**  
多世代が関わり合うコミュニティを!

👍 **エンタメ性もある!**  
TOYODA BEER、多摩動物公園

👍 **公的施設**  
役所、公民館、図書館、古い曲街

🗣️ **説明に困るところアリ...**  
南北格差がある...?、回廊建設の状況、免頭梓汁

💡 **STEAM教育!**  
実験教室、音響マルチ!

💡 **フィールドワーク**  
プレイン・ストレーミング

💡 **循環する役割**  
子育ておじいおばあ、埋もれたGoodを発信するおじいおばあ

💡 **子育て・発達支援!**  
#自然界限、人を集める!

💡 **日野ならではの良さ**  
日野ならではの良さ、日野だから良い

# 第1回庁内ワークショップ

---

2026/1/29



日野市

Hino City

# 第1回庁内WS

## ■ 開催日時

令和8年1月29日（木） 14時00分～16時00分

## ■ 会場

日野市民会館 展示室1

## ■ 参加者

各部から職員30名（主事～係長級）

## ■ プログラム

- ・（事前ワーク）「自部署の継続すべき施策・観点」「自部署の改善すべき課題」「市全体の課題」
- ・趣旨説明「（仮称）第2期日野市まち・ひと・しごと創生総合戦略とは」
- ・日野市の現状と将来予測
- ・ワークショップ「**日野市の重点課題**」



# 主に抽出された課題①

## 健康・福祉

- 高齢化への対応
- 福祉人材不足
- 障がい福祉サービスの利用者増加

## 子ども・子育て

- 若年層の流出
- 保育士不足

## 多文化共生

- 外国人との共生に向けた取り組み
- 外国人の増加
- 多様化に伴う業務の増大

## 防災

- 災害対策
- 水害対策
- 災害への備えが弱い
- 災害時の対応

## 観光・魅力発信

- 市の認知度の低さ
- 魅力不足
- 情報発信不足
- PR出来るものが少ない
- 住みやすい街であることのアピール不足

## 農業

- 農地の減少

## 芸術・文化スポーツ

- 地域活動の担い手不足

## 環境対策・ カーボンニュートラル

- CO2排出量等の気候変動対策



# 主に抽出された課題②

- 「持続可能な行政サービス」に関する課題は、参加6グループ全てから意見がありました。
- 特に、「財政不足」「職員不足」など、リソースに関する課題認識が多く見られ、限られた予算と人を、どこに重点的に投資するか「選択」の必要性を認識しました。

## 教育

- 職員数の減少
- 少子化

## 産業・経済

- 産業用地の不足
- 企業誘致
- 生産年齢人口の縮小
- 日野市民は他市で買い物しており、市内の商業に課題

## 雇用・労働

- 駅前地域の待機児童

## 都市基盤整備・再開発

- 地域格差
- 要修繕のインフラが増加
- 延命修繕の優先順位の決定
- 複数施設の機能重複の解消
- まちづくりが未完

## 交通空白地域

- 交通困難地への対応
- 南北の移動手段の少なさ

## 生活環境

- 団地の空き家化
- 空き家・空き店舗の増加
- 買物が不便なエリアの存在

## 持続可能な行政サービス

- 財源不足
- 財政余力が十分ではない
- 財政負担の重い「市立」病院である必要性
- 職員不足
- 人員配置の偏り
- 市の事業見直し
- 行政サービスの持続性
- 市役所内で部署横断の仕組みが出来ていない
- 医療費の増加
- 税収の確保
- DXを活用した業務改善
- テレワークがしづらい
- 市民サービスにおける市民の待ち時間の短縮
- 財政の硬直化（扶助費の増大）
- 市民・民間との連携（市単独でのサービス提供継続が難しい）
- 新しい取り組みに慎重



# 第2回市民ワークショップ 「あつまれ！ひの戦略ラボ」

---

2026/2/21



日野市  
Hino City

# 第2回市民WS 「あつまれ！ひの戦略ラボ」



## ■ 開催日時

令和8年2月21日(土) 13時30分～16時00分

## ■ 会場

子ども包括支援センター「みらいく」3階 多目的室1～3

## ■ 参加者

公募市民16名／20名

## ■ プログラム

- ・ 第1回市民WSの振り返り・第1回庁内WSの共有
- ・ ワークショップ
  - ▶ 「チームのテーマに対する「課題」と「理想の未来」を考え、これらのギャップを埋める「アイデア」を考える」

## テーマ（分野）

(1)  
「誰一人取り残さない、  
ともに支え合えるまち」

(2)  
「自然と文化の魅力を  
誇れるまち」

(3)  
「住み・学び・働き・  
活躍できるまち」

(4)  
「いつまでも安心して  
住み続けられるまち」

## キーワード（政策テーマ）

- ・ 健康・福祉
- ・ 子ども・子育て
- ・ 多文化共生
- ・ 防災

- ・ 観光・魅力発信
- ・ 農業
- ・ 芸術・文化スポーツ
- ・ 環境対策・カーボンニュートラル

- ・ 教育
- ・ 産業・経済
- ・ 雇用・労働
- ・ 都市基盤整備・再開発

- ・ 交通空白地域
- ・ 生活環境
- ・ 持続可能な行政サービス



# テーマ1 誰一人取り残さない、ともに支え合えるまち

健康・福祉

子ども・子育て

多文化共生

防災

## 理想の未来

### 楽しそうな子ども

- できるだけ多くの子供達が、学校生活を楽しみ、外遊びができるようになる
- 子供達が楽しそうに過ごしている

### 楽しそうな高齢者

- 若者と高齢者世帯と一緒に活動できる
- 高齢者が積極的に出て交流する
- 子育て世代が地域のシニア世代とつながり、子育てにおける支援が普通に得られる

### 強制しないコミュニティづくり

- 自分が住んでいる地域住民同士の顔の見える関係を築いておく
- タテヨコナメでゆるくつながりわかちあえる日野市民同志
- 多くの人達がまちと何らかの関係を持つ。地域型コミュニティ・テーマ型コミュニティ
- 安心安全な地域にある私の住まい

### 企業・自治体・住人

- 企業も市民として共存する
- 日野市の発信力ワンストップサービス
- 生活支援・同行支援のサービス拡充・人材育成
- 保育士をしっかりと採用する

## アイデア (解決手段・方法)

- お祭り・フェスティバル（企業も参加）
- 地域のサロン
- 「法人も市民」という意識の醸成
- 集う場。企業・福祉施設・保育園

- コミュニティセンター・場所の活用・創出

- 市の現状把握を市民が手伝う
- 住民が市役所に提案する

## 現状における 不満・悩み・課題

### 孤立

- 弱体化するコミュニティ意識
- 困ったときの相談先がわからない
- 高齢者の孤立、不活性
- 子育て世代の孤立

### コミュニティ

- 災害時に支え合えるご近所になれるか
- 障がい者・要介護者・外国人が災害時に確実に避難できるか
- 大企業跡地に来る法人は市民になってくれるか

### その他

- 子どもの教育問題

### 人材不足

- 高齢化が進む中での地域活力の維持
- 介護人材不足で最後まで過ごせるか
- 保育士不足で日野でしっかり子育てと仕事の両立ができるか
- 障がい児・者の支援者不足



# テーマ2 自然と文化の魅力を誇れるまち

観光・魅力発信

農業

芸術・文化・スポーツ

環境対策・CNの実現

理想の未来

- 観光**
- 動物園をもっと市として周辺整備しながらアピールする
  - 高幡→南平丘陵公園でウォーキングコースを作る
  - 湧水を整備しハイキングコースを作る（農家の地場野菜売りも含めて）
  - 高幡不動エリアが休日にはより多くの観光客でにぎわう

- 名産品**
- 河川活用できるまち
  - カワセミが飛び交うまち
  - ふるさと納税から資金調達できる（選ばれる）
  - 日野の名産品アピール（トマト・ブルーベリー）

- 市民参加**
- ゴミ=資源として、市民と一緒に周辺整備
  - 誰もが農業に関われるコミュニティ農園を増やす
  - 地域行事が盛んなまち

アイデア  
(解決手段・方法)

- 湧水巡り散策コース作り・イベント
- 魅力調査散歩大会の開催
- 周辺の良い所を見つけるハイキングをする
- 湧水・用水を地図で確認する

- 農家と市をつなぐ
- 名産品写真コンクール

- スポーツ大会誘致（ロードレースなど）
- アピールする場所を探す

- 市立小中学校での環境教育（ごみ・自然散策）
- 自治会ゴミ0(ゼロ)大会開催

- 日野地区大運動会の開催
- 地区センターの活用

現状における  
不満・悩み・課題

- 京王沿線盛り上げ**
- 高幡不動エリアの盛り上げに欠ける
  - 南平・平山城址・百草園の盛り上がり

- ふるさと納税の工夫**
- ふるさと納税の写真の工夫・見せる工夫
  - 梨・ブルーベリー・新選組

- 魅力発信**
- 魅力のアピール・発信不足
  - 地元野菜・特にトマトの発信不足

- 優先整備**
- 自然豊かな場所が整備されてない
  - 河川の環境整備
  - 公園整備不足

- 文化**
- 芸術の発信の場
  - 絵・写真展などをする所が少ない
  - 地域行事の担い手不足



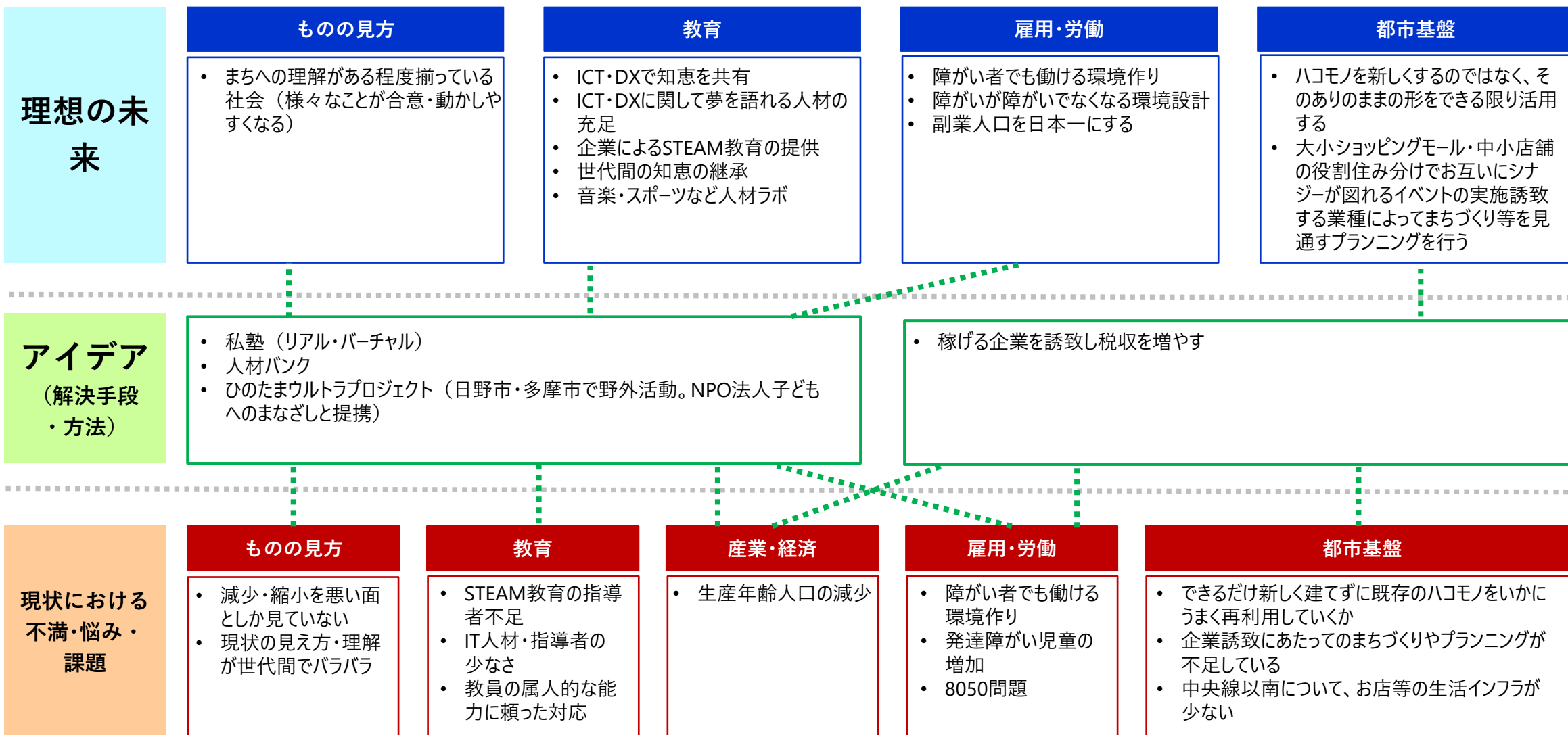
# テーマ3 住み・学び・働き・活躍できるまち

教育

産業・経済

雇用・労働

都市基盤の  
整備・再開発



# テーマ4 いつまでも安心して住み続けられるまち

交通空白地域の解消

生活環境の向上

持続可能な  
行政サービス

## 理想の未来

### 行政

- 行政のDX化・インターネットを活用する仕組み作り
- 65才以上DX研修必修化
- 市役所の運営の民営化と稼げるサービス化
- まちづくりプランとともに民間に建替えの公募
- 企業からの投資を呼び込む

### コミュニティ

- DX・AI化で行政サービスを効率化し、市役所はコミュニティづくりに注力する
- 移動もコミュニティも行政サービスもストレスなく行き来できるまち
- 空き家を活用したコミュニティセンターの設置
- 売りたい人が売りに行ける移動販売車の業務委託システム

### 交通・インフラ

- バスの運行経路の見直し
- ロータリー・駐車場・駐輪場をつくる
- 豊田北公園付近に橋をかける
- 南平駅の真後ろに豊田につながる道をつくる
- 1つのバスターミナルから行けない場所が無い

## アイデア (解決手段・方法)

- DX化プランを募集し、民間の力を活用する
- 超有能なDXプランナーを有期で雇う
- 人の手によるぬくもりは市役所職員の方に対応いただく

- 求める人材のマッチングシステムをつくる
- 市民を巻き込めるように意見を集い公開する
- ひのPay

- 京王電鉄とまちのリノベーションを行う（平山を中心に）
- 企業誘致
- 日野自動車を盛り上げる（税収の観点も含め）
- 有料道路を整備して費用を確保する

## 現状における 不満・悩み・課題

### 行政

- 税収減
- 市役所・支所に行かないと行政サービスの相談ができない
- 古い団地がそのまま誰も住んでおらず防犯上不安

### コミュニティ

- 気軽に集まれる場所が遠い・少ない
- 子ども会の後継者が不足し始めている
- 買い物が不便

### 交通

- バスの本数が少ない・バスの減便
- 橋を渡らないと南北移動ができない
- 高幡橋～一番橋間が長い
- 交通空白地帯



# 第2回庁内ワークショップ

---

2026/2/26



日野市

Hino City

# 第2回庁内WS

## ■ 開催日時

令和8年2月26日（木） 14時00分～16時00分

## ■ 会場

日野市民会館 展示室1

## ■ 参加者

各部から職員33名（主事～係長級）

## ■ プログラム

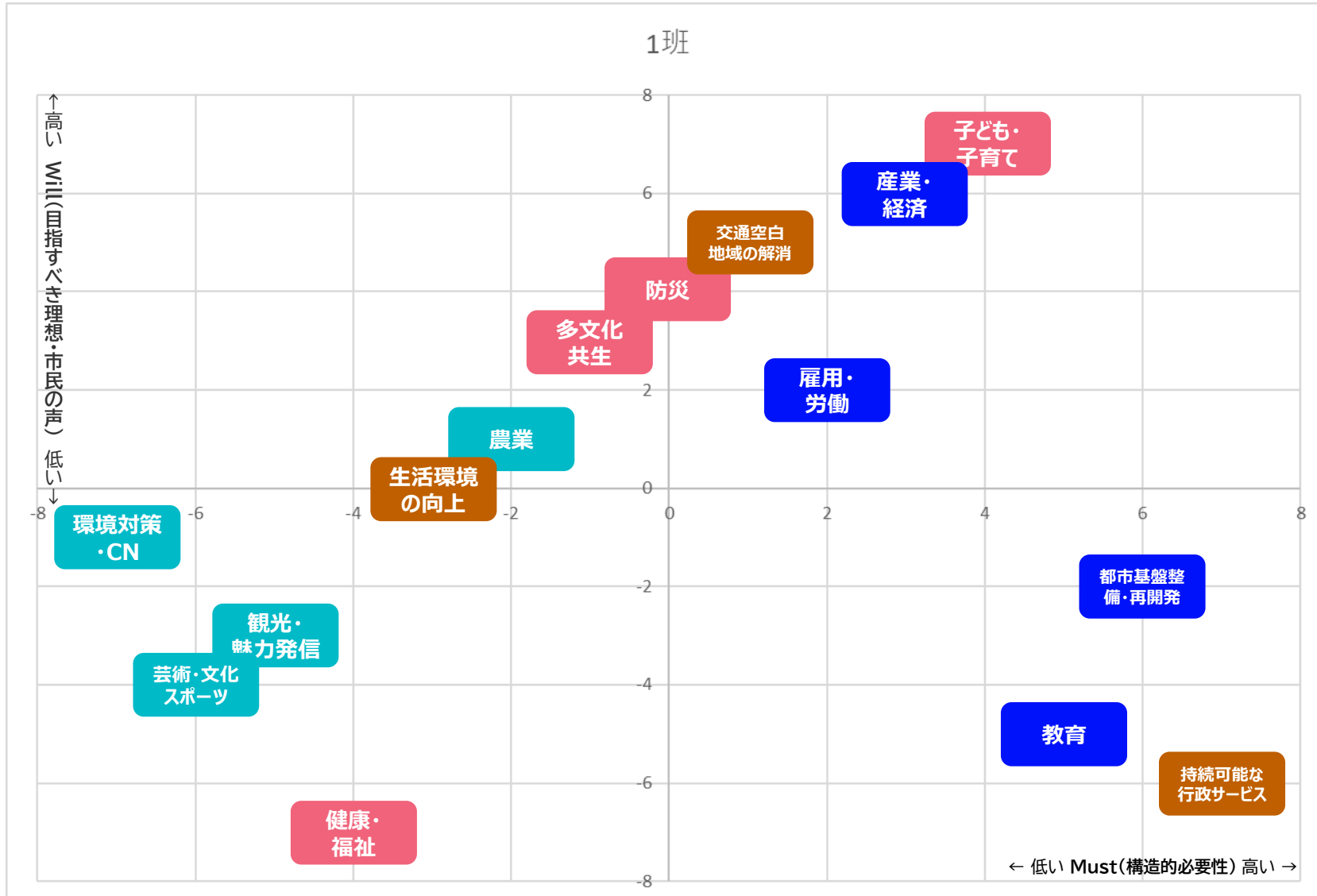
- （事前ワーク）「限られた財源・人員を踏まえた、既存の取り組み見直し余地の検討」
- 第2回市民ワークショップ内容の共有
- ワークショップ「政策の優先順位」

➤ 日野市の理想像に近づくために、15個の政策テーマについて

「横軸：Must軸...どのテーマから着手すべきか（順番）」・「縦軸：Will軸...どのテーマを強化すべきか（強弱）」  
をマッピング



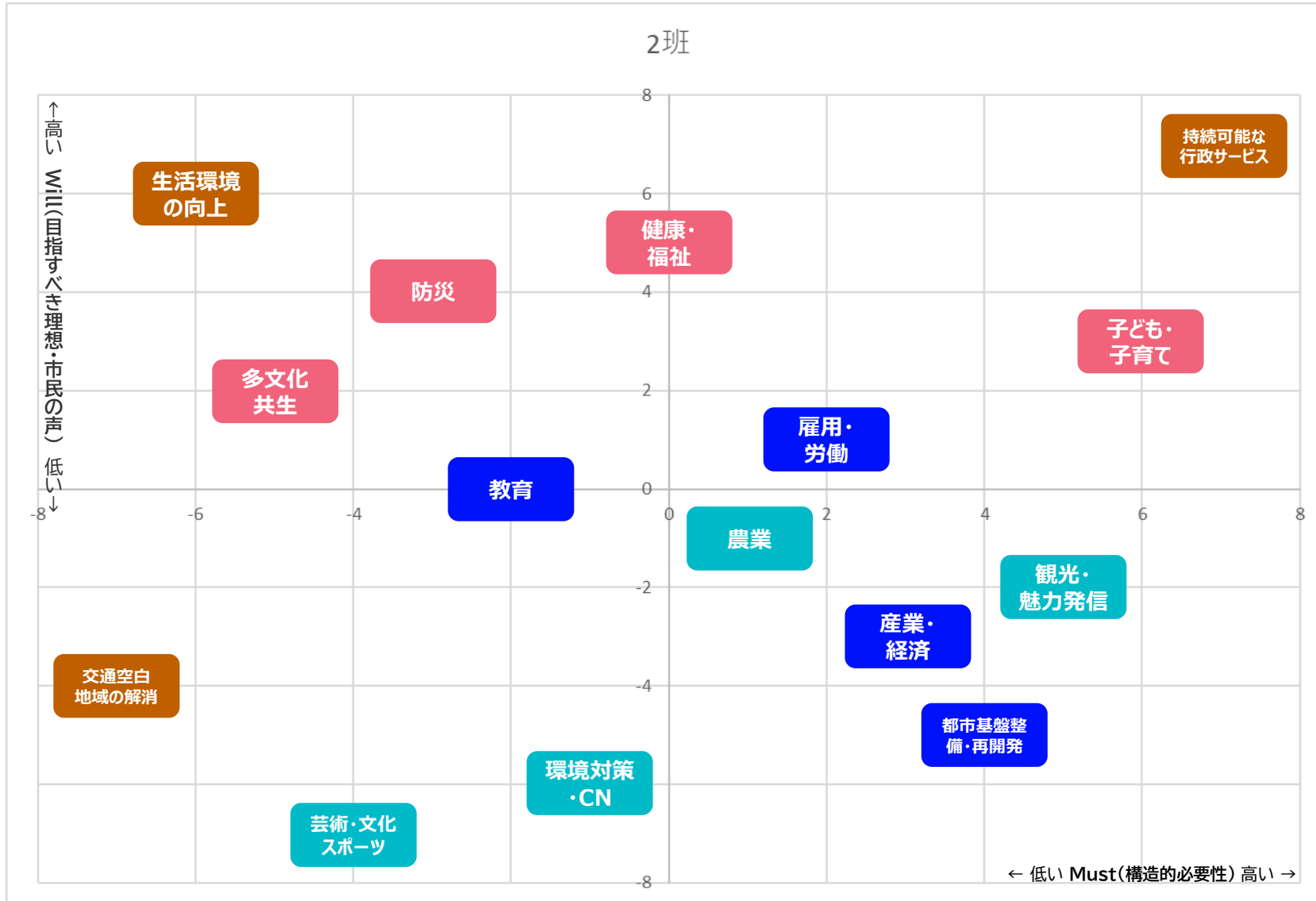
# 1班案：未来創造・攻めの資源シフト型



	1班	
	Must軸	Will軸
健康・福祉	-4	-7
子ども・子育て	4	7
多文化共生	-1	3
防災	0	4
観光・魅力発信	-5	-3
農業	-2	1
芸術・文化スポーツ	-6	-4
環境対策・カーボンニュートラル	-7	-1
教育	5	-5
産業・経済	3	6
雇用・労働	2	2
都市基盤の整備・再開発	6	-2
交通空白地域の解消	1	5
生活環境の向上	-3	0
持続可能な行政サービス	7	-6



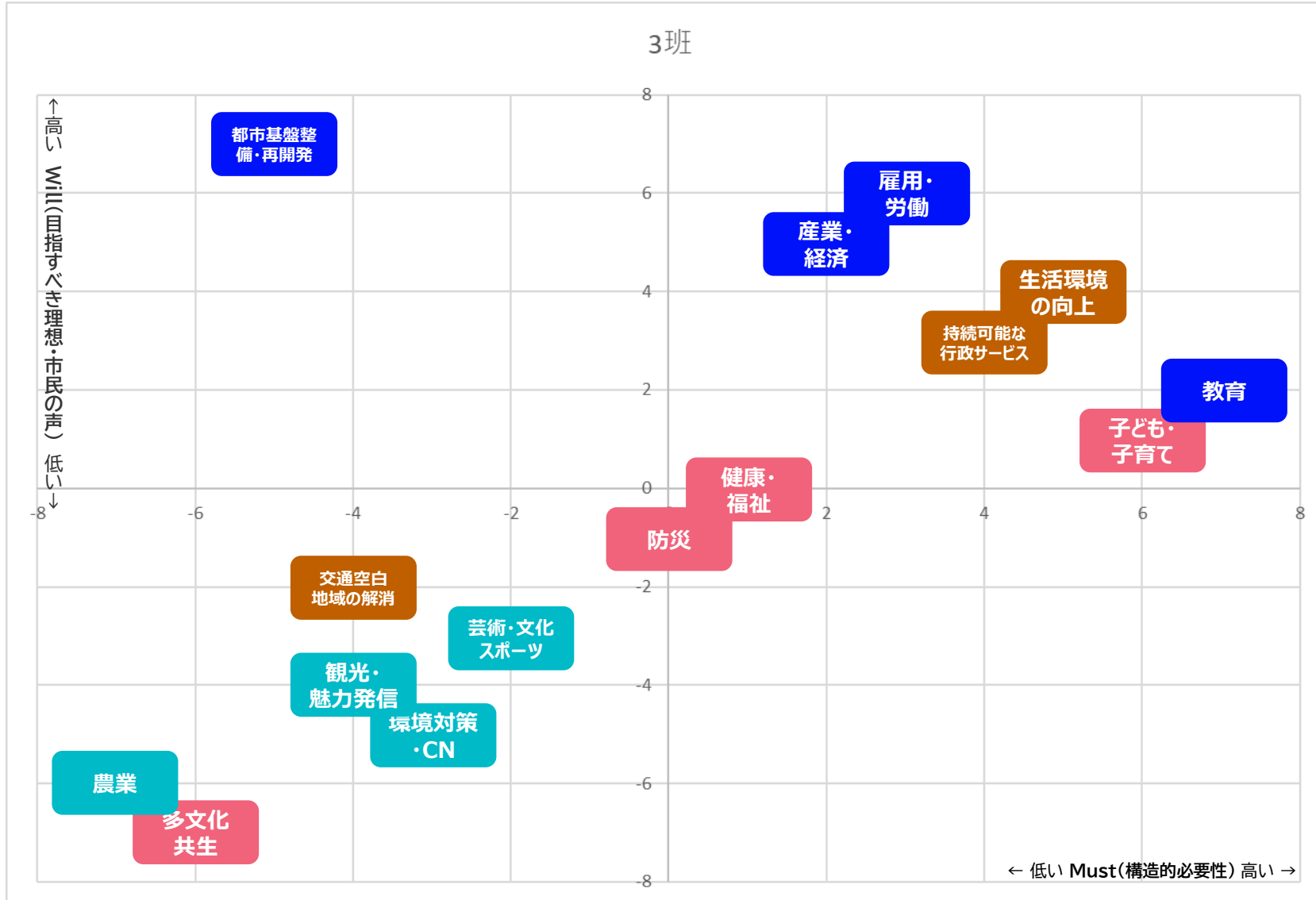
# 2班案：行政基盤再設計・生活重視型



	2班	
	Must軸	Will軸
健康・福祉	0	5
子ども・子育て	6	3
多文化共生	-5	2
防災	-3	4
観光・魅力発信	5	-2
農業	1	-1
芸術・文化スポーツ	-4	-7
環境対策・カーボンニュートラル	-1	-6
教育	-2	0
産業・経済	3	-3
雇用・労働	2	1
都市基盤の整備・再開発	4	-5
交通空白地域の解消	-7	-4
生活環境の向上	-6	6
持続可能な行政サービス	7	7



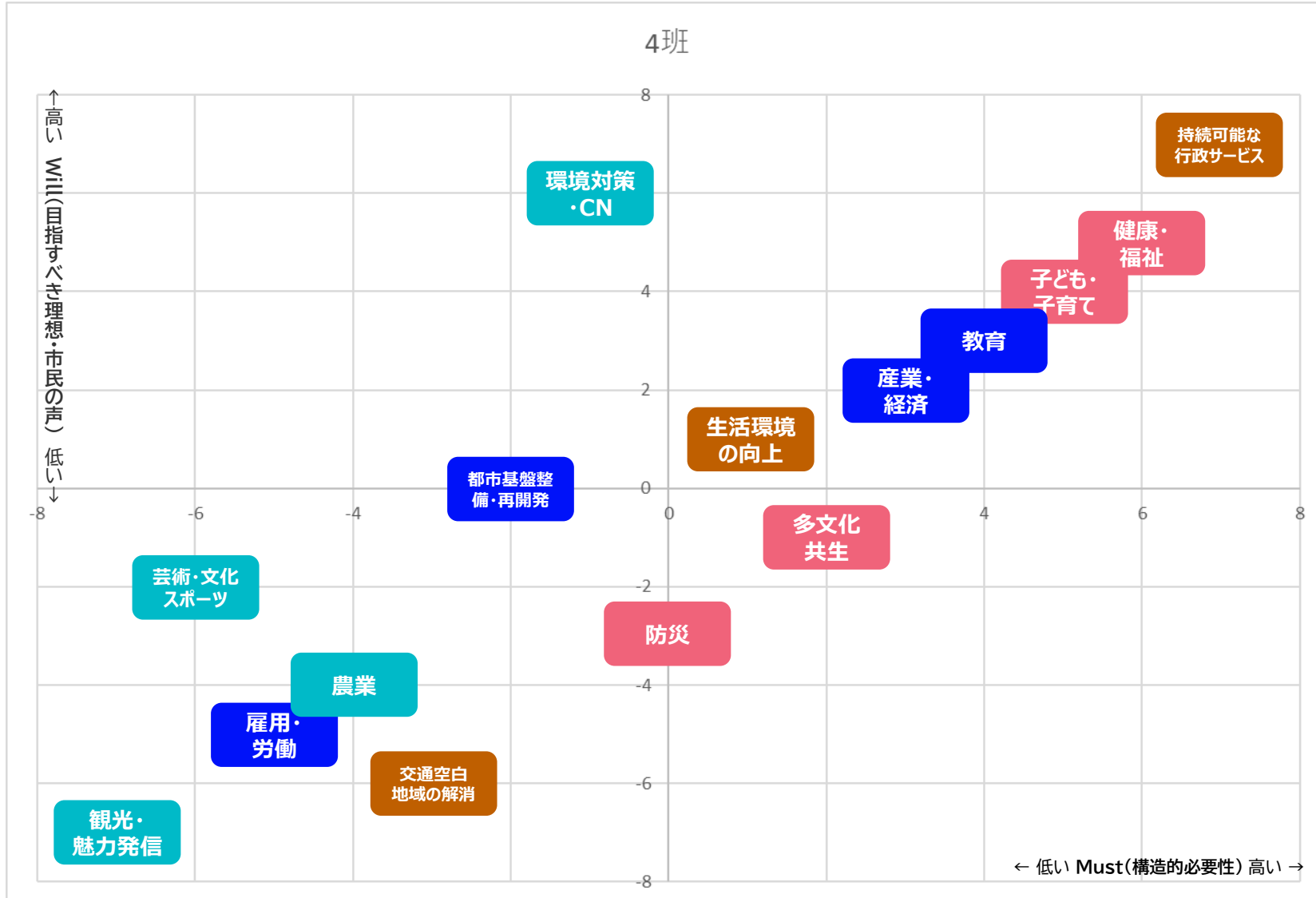
# 3班案：都市的成長創出型



	3班	
	Must軸	Will軸
健康・福祉	1	0
子ども・子育て	6	1
多文化共生	-6	-7
防災	0	-1
観光・魅力発信	-4	-4
農業	-7	-6
芸術・文化スポーツ	-2	-3
環境対策・カーボンニュートラル	-3	-5
教育	7	2
産業・経済	2	5
雇用・労働	3	6
都市基盤の整備・再開発	-5	7
交通空白地域の解消	-4	-2
生活環境の向上	5	4
持続可能な行政サービス	4	3



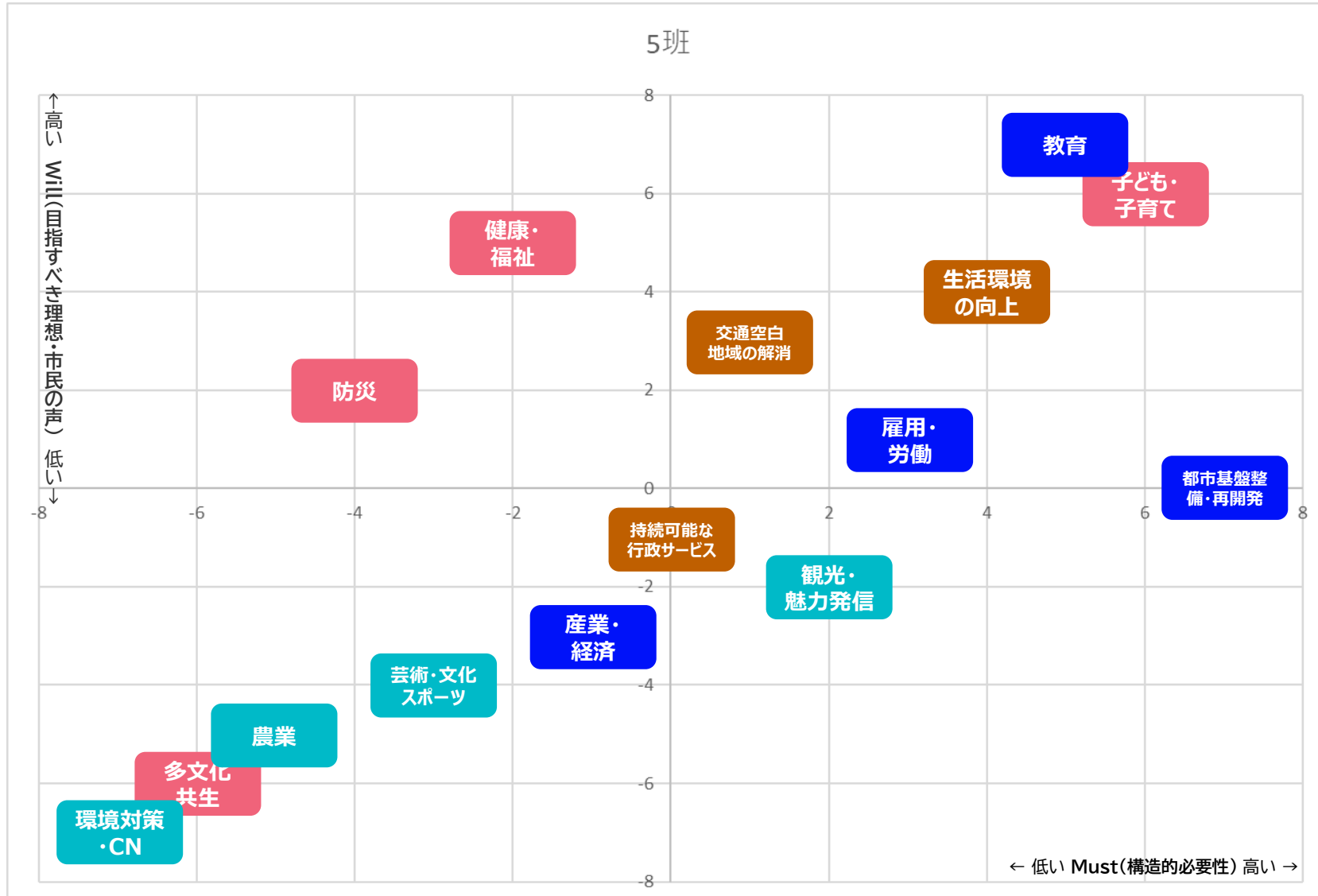
# 4班案：福祉・質的豊かさ優先型



	4班	
	Must軸	Will軸
健康・福祉	6	5
子ども・子育て	5	4
多文化共生	2	-1
防災	0	-3
観光・魅力発信	-7	-7
農業	-4	-4
芸術・文化スポーツ	-6	-2
環境対策・カーボンニュートラル	-1	6
教育	4	3
産業・経済	3	2
雇用・労働	-5	-5
都市基盤の整備・再開発	-2	0
交通空白地域の解消	-3	-6
生活環境の向上	1	1
持続可能な行政サービス	7	7



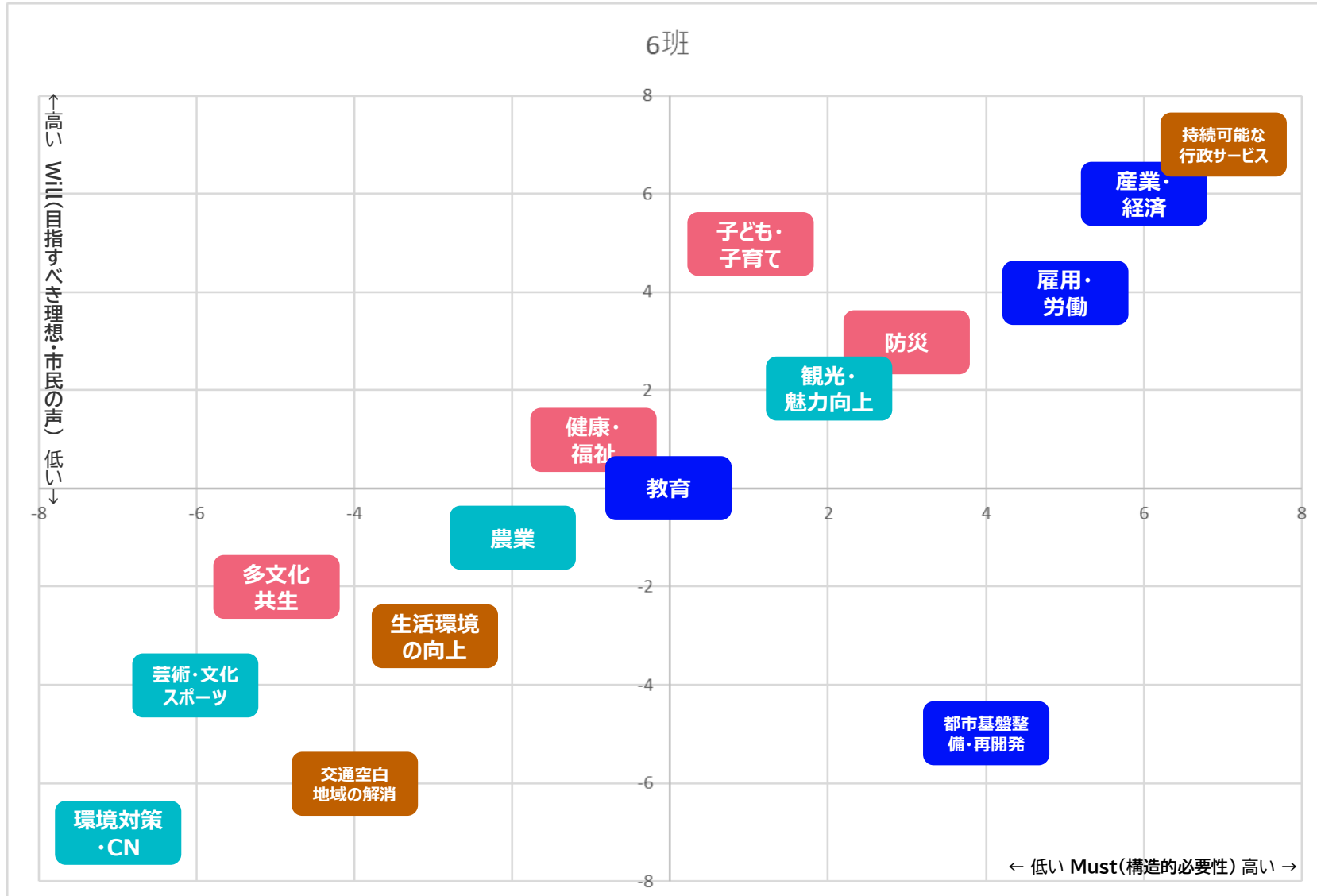
# 5班案：教育・子育てのまち特化型



	5班	
	Must軸	Will軸
健康・福祉	-2	5
子ども・子育て	6	6
多文化共生	-6	-6
防災	-4	2
観光・魅力発信	2	-2
農業	-5	-5
芸術・文化スポーツ	-3	-4
環境対策・カーボンニュートラル	-7	-7
教育	5	7
産業・経済	-1	-3
雇用・労働	3	1
都市基盤の整備・再開発	7	0
交通空白地域の解消	1	3
生活環境の向上	4	4
持続可能な行政サービス	0	-1



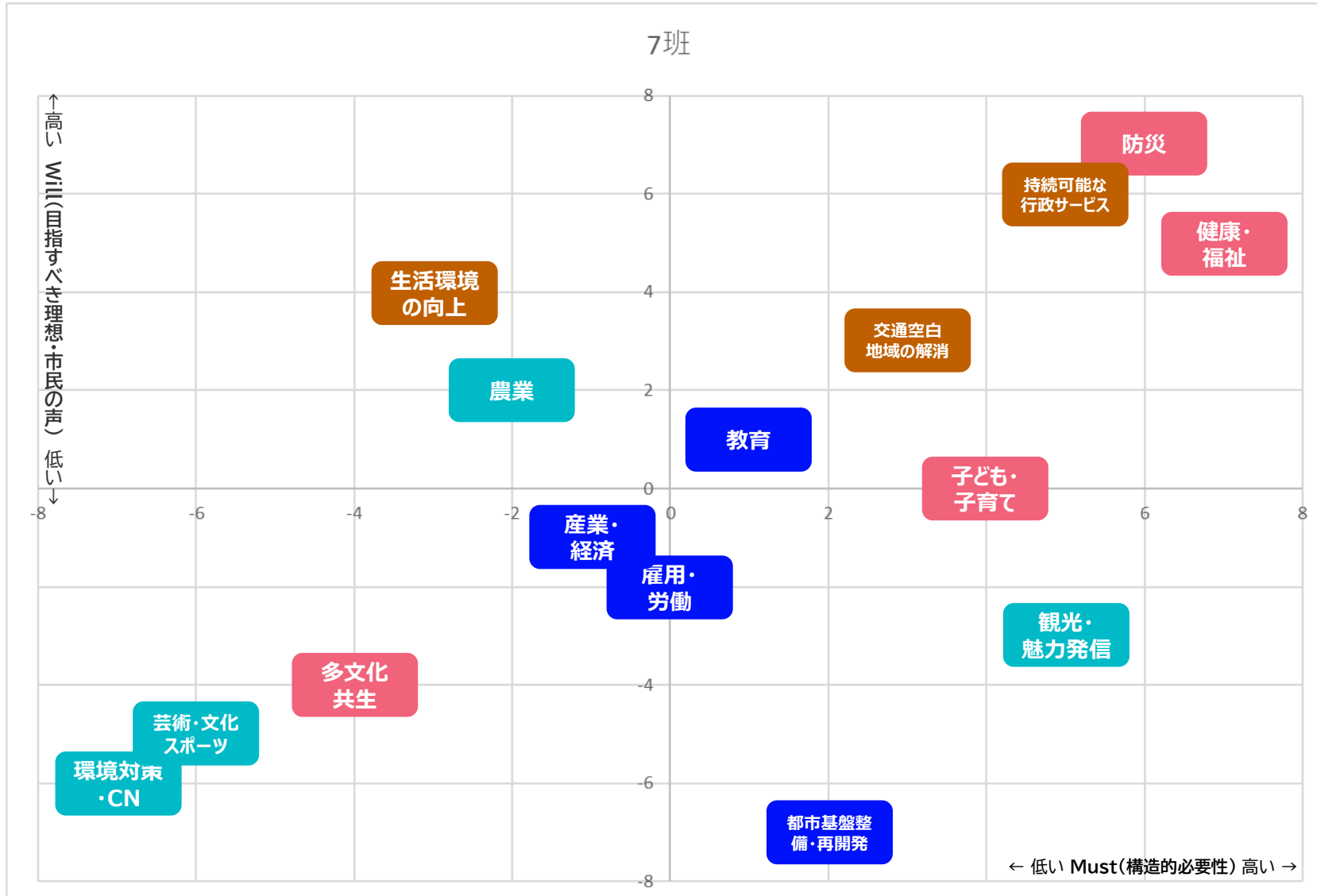
# 6班案：稼ぐ力・産業主導型



	6班	
	Must軸	Will軸
健康・福祉	-1	1
子ども・子育て	1	5
多文化共生	-5	-2
防災	3	3
観光・魅力発信	2	2
農業	-2	-1
芸術・文化スポーツ	-6	-4
環境対策・カーボンニュートラル	-7	-7
教育	0	0
産業・経済	6	6
雇用・労働	5	4
都市基盤の整備・再開発	4	-5
交通空白地域の解消	-4	-6
生活環境の向上	-3	-3
持続可能な行政サービス	7	7



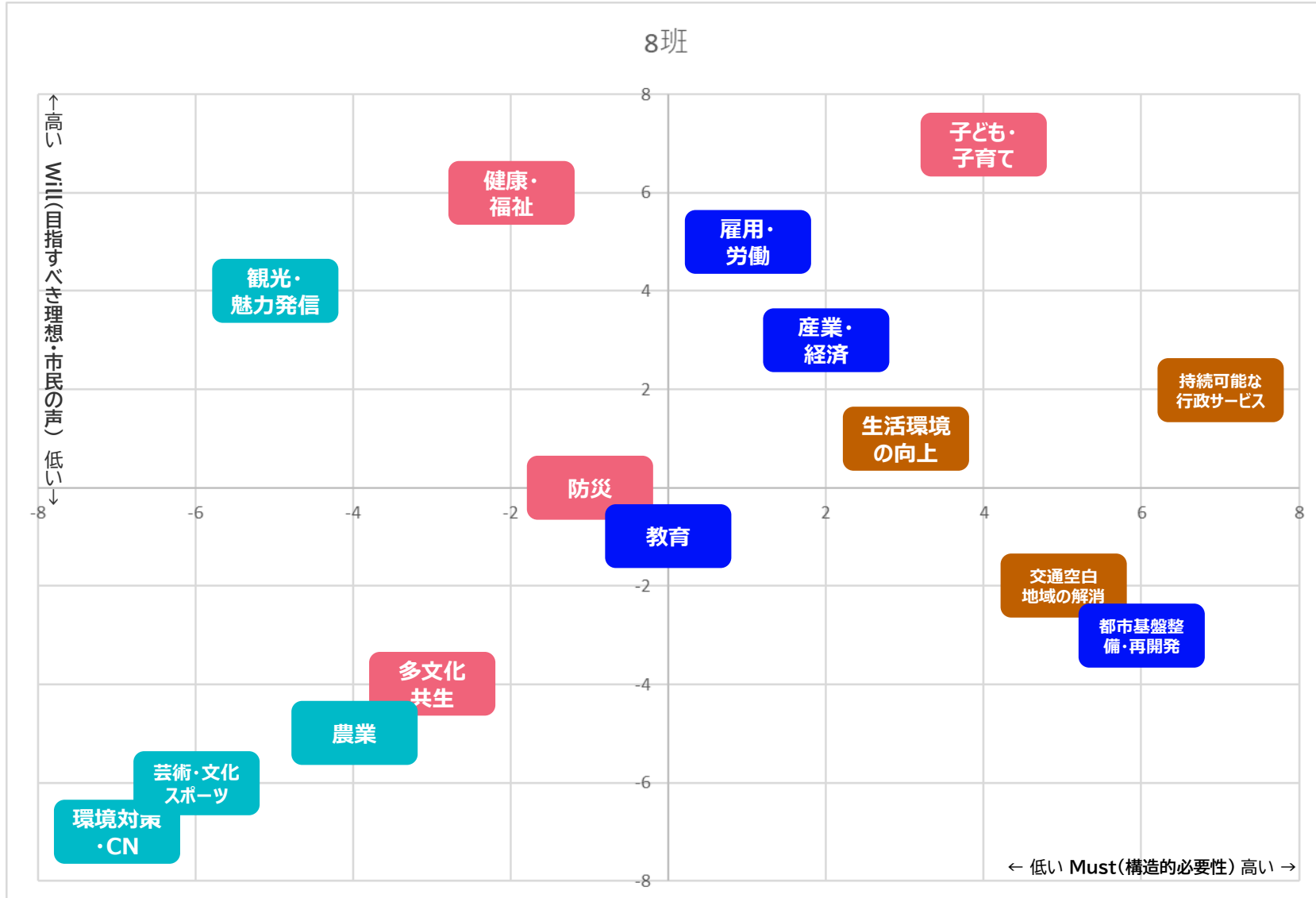
# 7班案：リスク対応最優先型



	7班	
	Must軸	Will軸
健康・福祉	7	5
子ども・子育て	4	0
多文化共生	-4	-4
防災	6	7
観光・魅力発信	5	-3
農業	-2	2
芸術・文化スポーツ	-6	-5
環境対策・カーボンニュートラル	-7	-6
教育	1	1
産業・経済	-1	-1
雇用・労働	0	-2
都市基盤の整備・再開発	2	-7
交通空白地域の解消	3	3
生活環境の向上	-3	4
持続可能な行政サービス	5	6



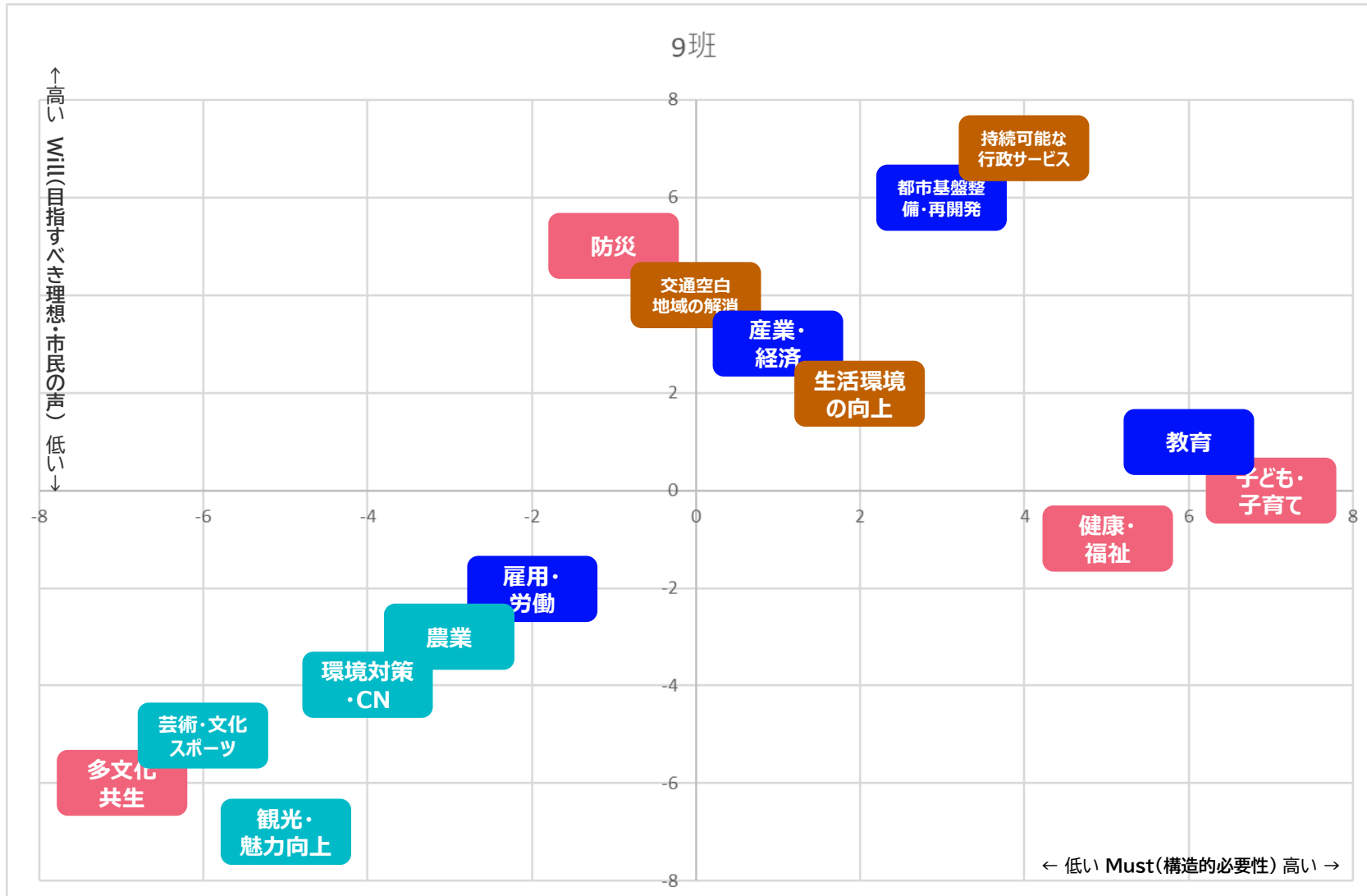
# 8班案：生活・成長バランス型



	8班	
	Must軸	Will軸
健康・福祉	-2	6
子ども・子育て	4	7
多文化共生	-3	-4
防災	-1	0
観光・魅力発信	-5	4
農業	-4	-5
芸術・文化スポーツ	-6	-6
環境対策・カーボンニュートラル	-7	-7
教育	0	-1
産業・経済	2	3
雇用・労働	1	5
都市基盤の整備・再開発	6	-3
交通空白地域の解消	5	-2
生活環境の向上	3	1
持続可能な行政サービス	7	2



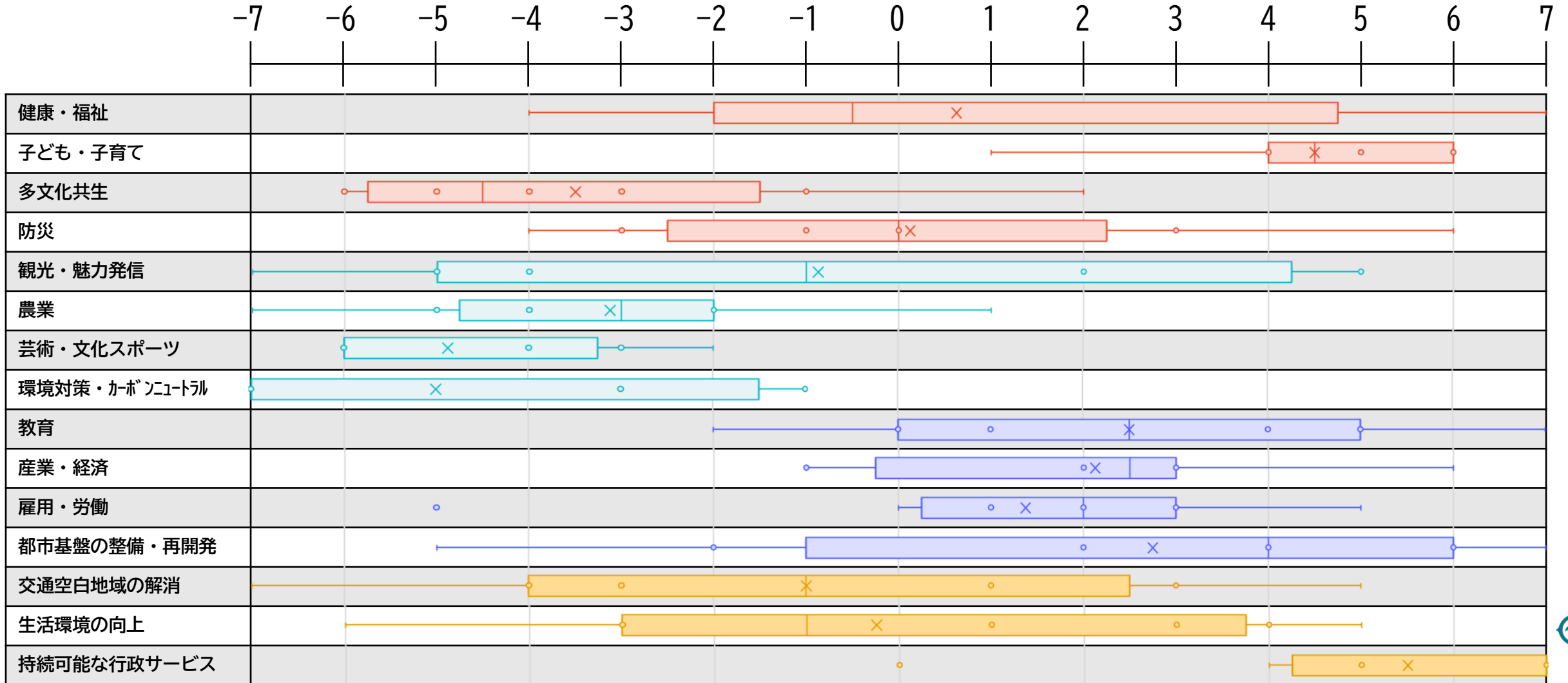
# 9班案：行政骨格再整備型



	9班	
	Must軸	Will軸
健康・福祉	5	-1
子ども・子育て	7	0
多文化共生	-7	-6
防災	-1	5
観光・魅力発信	-5	-7
農業	-3	-3
芸術・文化スポーツ	-6	-5
環境対策・カーボンニュートラル	-4	-4
教育	6	1
産業・経済	1	3
雇用・労働	-2	-2
都市基盤の整備・再開発	3	6
交通空白地域の解消	0	4
生活環境の向上	2	2
持続可能な行政サービス	4	7



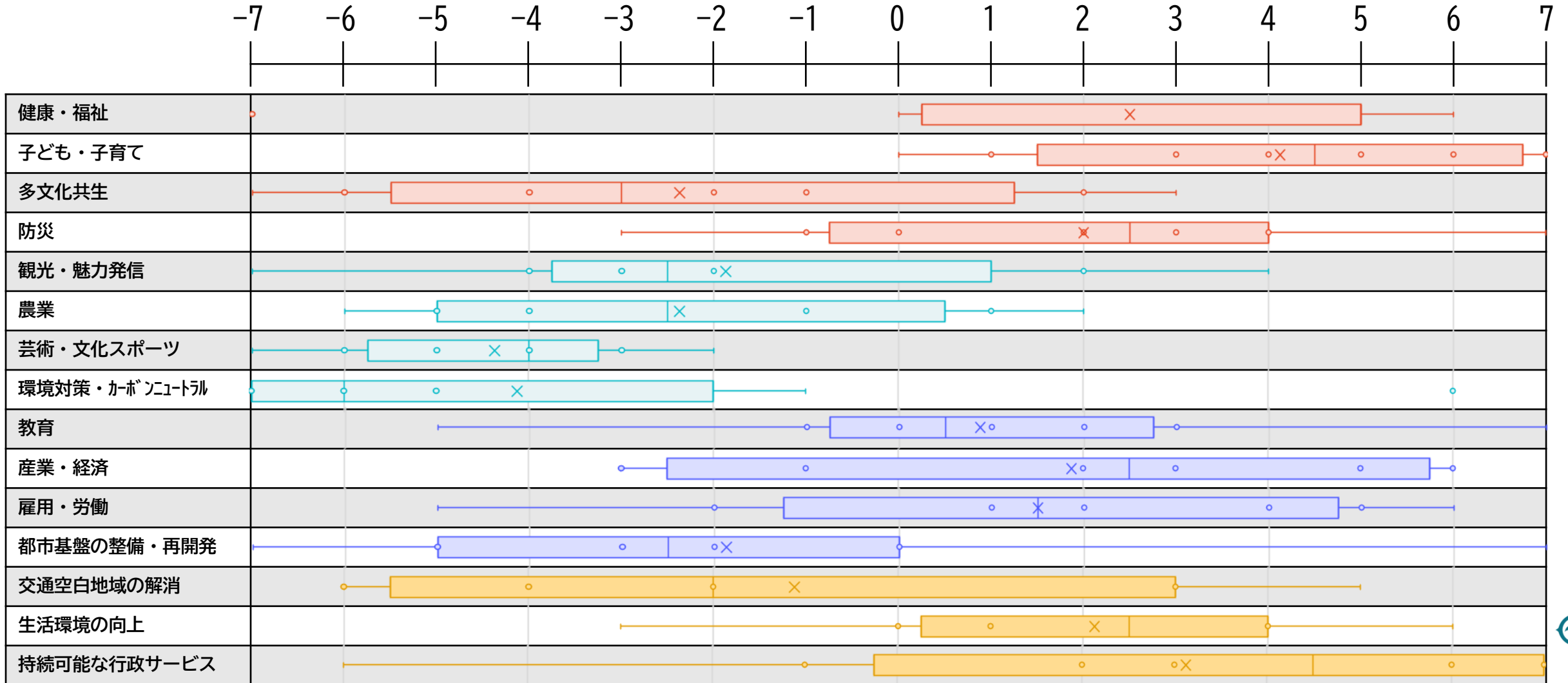
# Must軸の各班分布（先に取り組まないといけない優先順位）



グラフの見方：横向き箱ひげ図で示しています。 ×：平均値 |：中央値



# Will軸の各班分布（理想の未来のために重点的に投資すべき順位）



グラフの見方：横向き箱ひげ図で示しています。 ×：平均値 |：中央値



# 各班の意見まとめ

## 意見が収斂した点

- ✓ 「持続可能な行政サービス」はほぼ全班が右上（高Must・高Will）に位置づけており、全施策の土台として最優先とする認識が共有されている。
- ✓ 同様に「子ども・子育て」「教育」も高優先で一致した班が多く、人口減少対策としての共通意識が確立している。
- ✓ 一方「観光・魅力発信」「芸術・文化・スポーツ」「農業」は大半の班が相対的低位に置き、生活直結性の低い“プラスアルファ”と位置づける傾向が一致している。

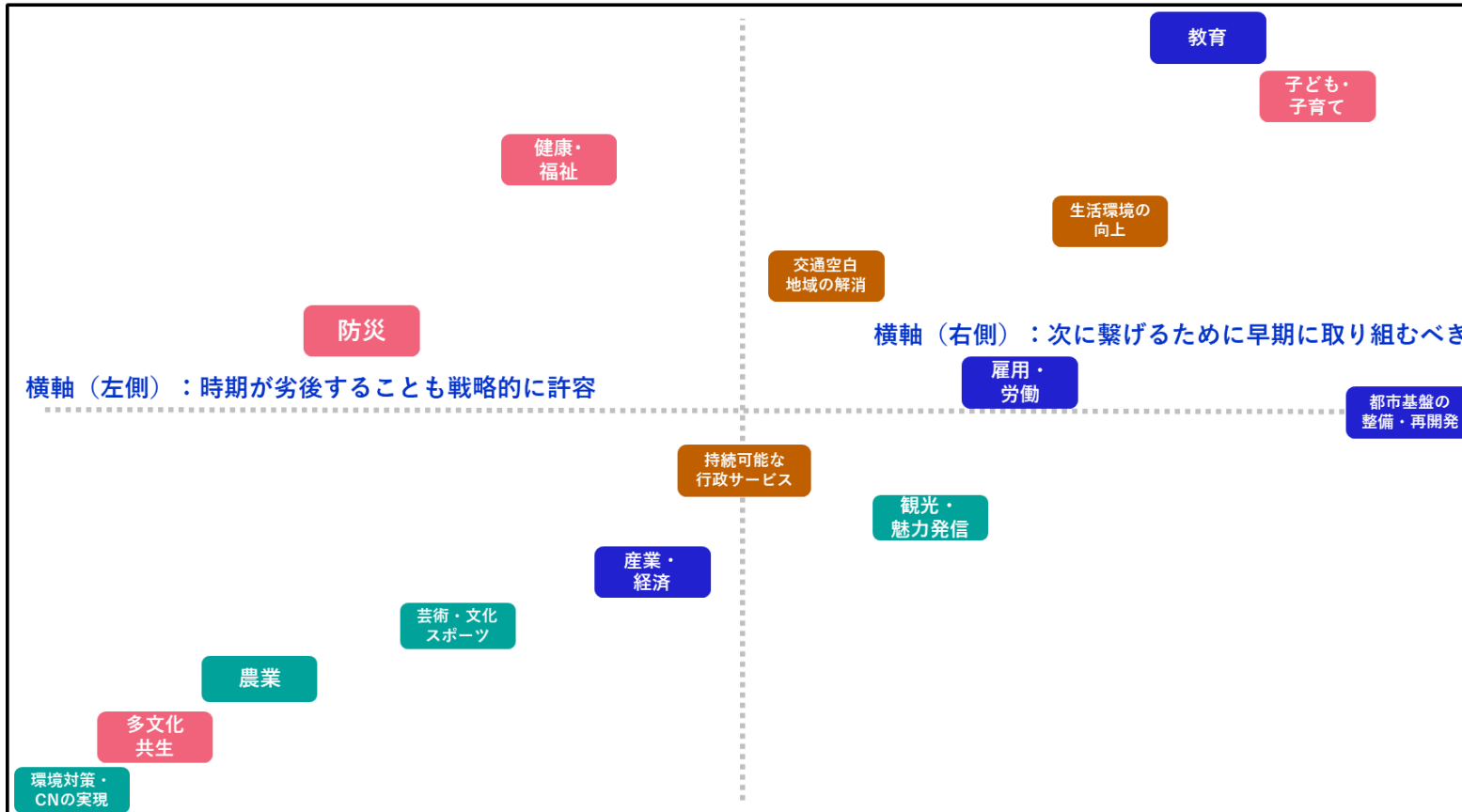
## 意見が分かれた点

- 「多文化共生」は共助の基盤として高位に置く班（1・2班）と低位に置く班（3・5・7班）に分かれている。
- 「産業・経済」は6班が早急な立て直しを要する高優先領域と評価する一方、5班は日野市での産業展開の優位性に懐疑的で低位とし、明確な対立が生じている。
- 「都市基盤整備・再開発」も、5班が子育て世代受け皿として高優先とする一方、6班はコスト・長期性を理由に縮小・停止を検討するなど、評価が大きく乖離している。
- 「防災」「健康・福祉」は班によって重み付けが異なり、生命優先か仕組みの成熟度を重視するかで立場が分かれている。

# 集約案①：人口流入基盤先行型

都市基盤を早期に整え、子ども・子育て／教育の充実により、子育て世代を中心に人を呼び込む、「**人口の流入**」に主眼を置いたロードマップ。（地域共創PF上での市民投票1位）

縦軸（上側）：理想像に近づくために強化したい



横軸（左側）：時期が劣後することも戦略的に許容

横軸（右側）：次に繋げるために早期に取り組むべき

〈縦軸：強弱〉

- ・ 子育て世代の転入増加や将来的な人材づくりの視点から、**教育・子ども子育て**に注力する

〈横軸：順番〉

（右側：早期に取り組む）

- ・ **都市基盤**（インフラ）の充実が他の政策に波及する
- ・ 子育て世代の早期取込を図るため**子ども子育て**に早期着手
- ・ **生活環境**は暮らしやすさに直結するため優先
- ・ 人を呼び込む**魅力発信**も早めに取り組む

（左側：時期が劣後することも戦略的に許容）

- ・ **環境対策・カーボンニュートラルの実現**への取り組みは人口の流入に直結しない
- ・ **多文化共生**への取り組みは子育て世代の流入に繋がるかは未知数
- ・ **農地**よりも、開発して人を呼び込みたい

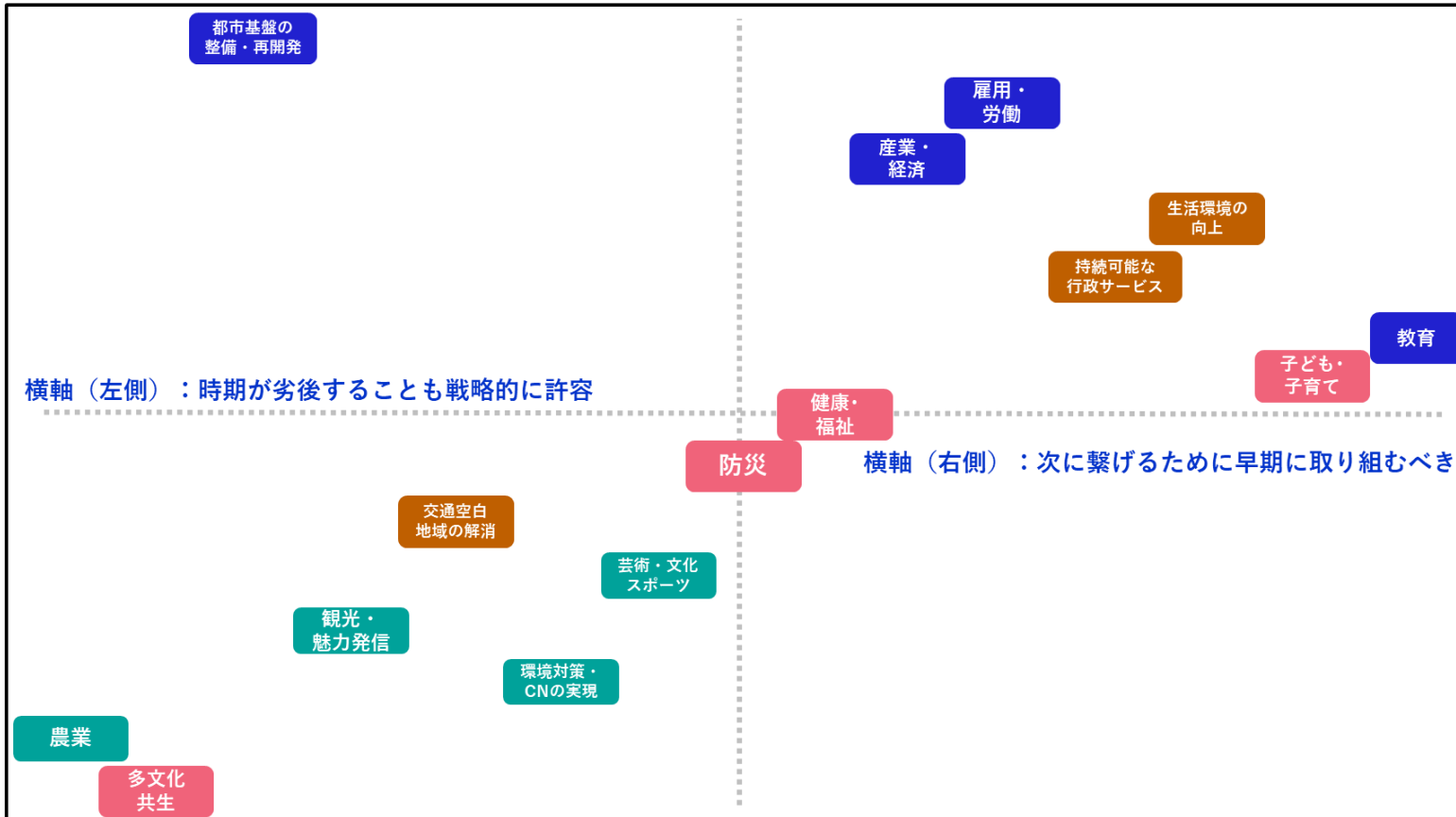
縦軸（下側）：理想像に近づくために相対的に縮小も検討



# 集約案②：生活環境基盤先行型

人材づくりや最低限の生活環境の早期充実を基盤にしたうえで、重要かつ時間を要する都市基盤の整備・再開発を目指すロードマップ。（地域共創PF上での市民投票2位）

縦軸（上側）：理想像に近づくために強化したい



〈縦軸：強弱〉

- ・ 将来的にも都市基盤の充実を進めていきたい
- ・ 市民の生活環境を整える観点でために、雇用労働は重要

〈横軸：順番〉

（右側：早期に取り組む）

- ・ 将来を担う人材づくりの観点から、早期に教育・子ども子育てに取り組む
- ・ 最低限の生活環境を整えるため、生活環境の向上・持続可能な行政サービスへの取り組みを優先。同様の理由から、雇用・労働、産業・経済にも早めに着手する

（左側：時期が劣後することも戦略的に許容）

- ・ 取り組みを継続する必要性は高いが、時間がかかる分野として都市基盤の整備・再開発は取り組み時期が劣後
- ・ 生活環境が整った後からついてくるニーズとして、農業や多文化共生の取り組み優先度は下げている

縦軸（下側）：理想像に近づくために相対的に縮小も検討

# 地域共創プラットフォーム 市民意見公募

---

2026/3/4～3/16



日野市  
Hino City

# 日野市地域共創PFでの意見募集・投票募集

- 第2回庁内WSで検討したロードマップを基に、「日野市地域共創プラットフォーム」にて、「理想の未来」の実現に向けたロードマップ案（6案）を示し、**意見募集・投票募集**を行いました（期間：3/4～3/16）。

日野市地域共創プラットフォーム

「理想の未来」の実現に向けたロードマップへの意見募集・投票募集

## 日野の未来は、みんなで作る

日野市地域共創プラットフォーム

日野市地域共創プラットフォームは、まちのさまざまな声やアイデアを集めて見えるようにするオンラインのプラットフォームです。

集まった声やアイデアは  
テーマオーナーだけでなく皆さんでシェアし、  
プロジェクトやアクションにつなげることを目指します。

地域共創プラットフォームでできること

- 1 知る・見る  
どんなテーマがあるの？
- 2 アイデアを投稿する
- 3 コメントやリアクション
- 4 実現を目指しさらに検討



意見募集！「日野の理想像に向けたロードマップ。取り組みの「順番」「強弱」についてあなたの考えを教えてください！」



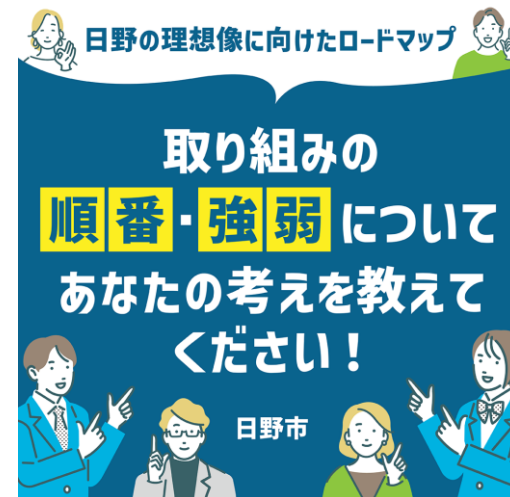
アイデア



投票受付中！「日野の理想像に向けたロードマップ。あなたの考えに近いものに〈投票〉してください！」



投票



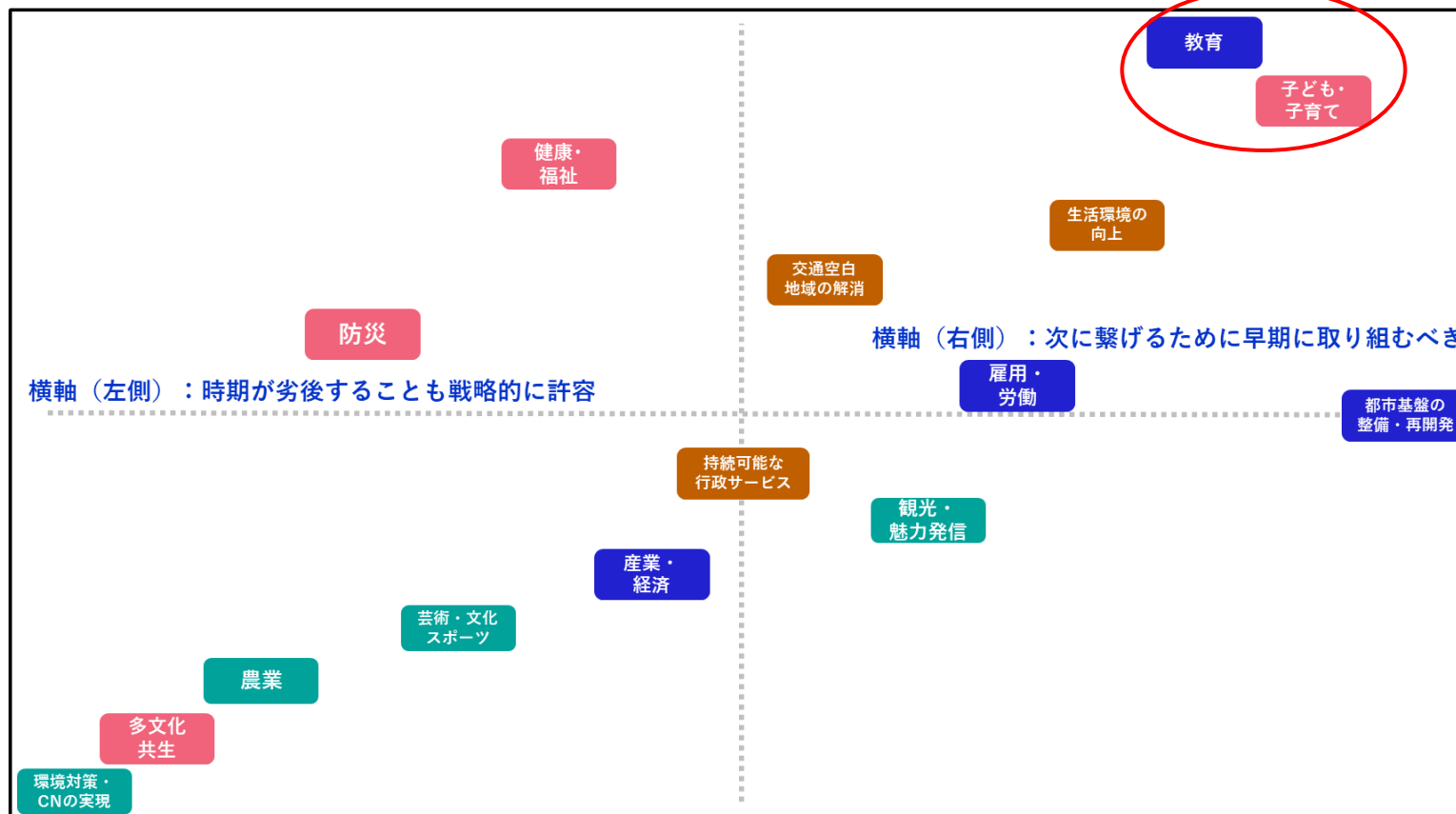
市公式LINE等、SNS広告に掲載



# 投票結果①

- 得票数が最も多い案④は、都市基盤を早期に整え、子ども・子育て／教育の充実により、子育て世代を中心に人を呼び込む、「**人口の流入**」に主眼を置いたロードマップです。

縦軸（上側）：理想像に近づくために強化したい



縦軸（下側）：理想像に近づくために相対的に縮小も検討

## 案④ 得票数：1位

〈縦軸：強弱〉

- ・ 子育て世代の転入増加や将来的な人材づくりの視点から、**教育・子ども子育て**に注力する

〈横軸：順番〉

（右側：早期に取り組む）

- ・ **都市基盤**（インフラ）の充実が他の政策に波及する
- ・ 子育て世代の早期取込を図るため**子ども子育て**に早期着手
- ・ **生活環境**は暮らしやすさに直結するため優先
- ・ 人を呼び込む**魅力発信**も早めに取り組む

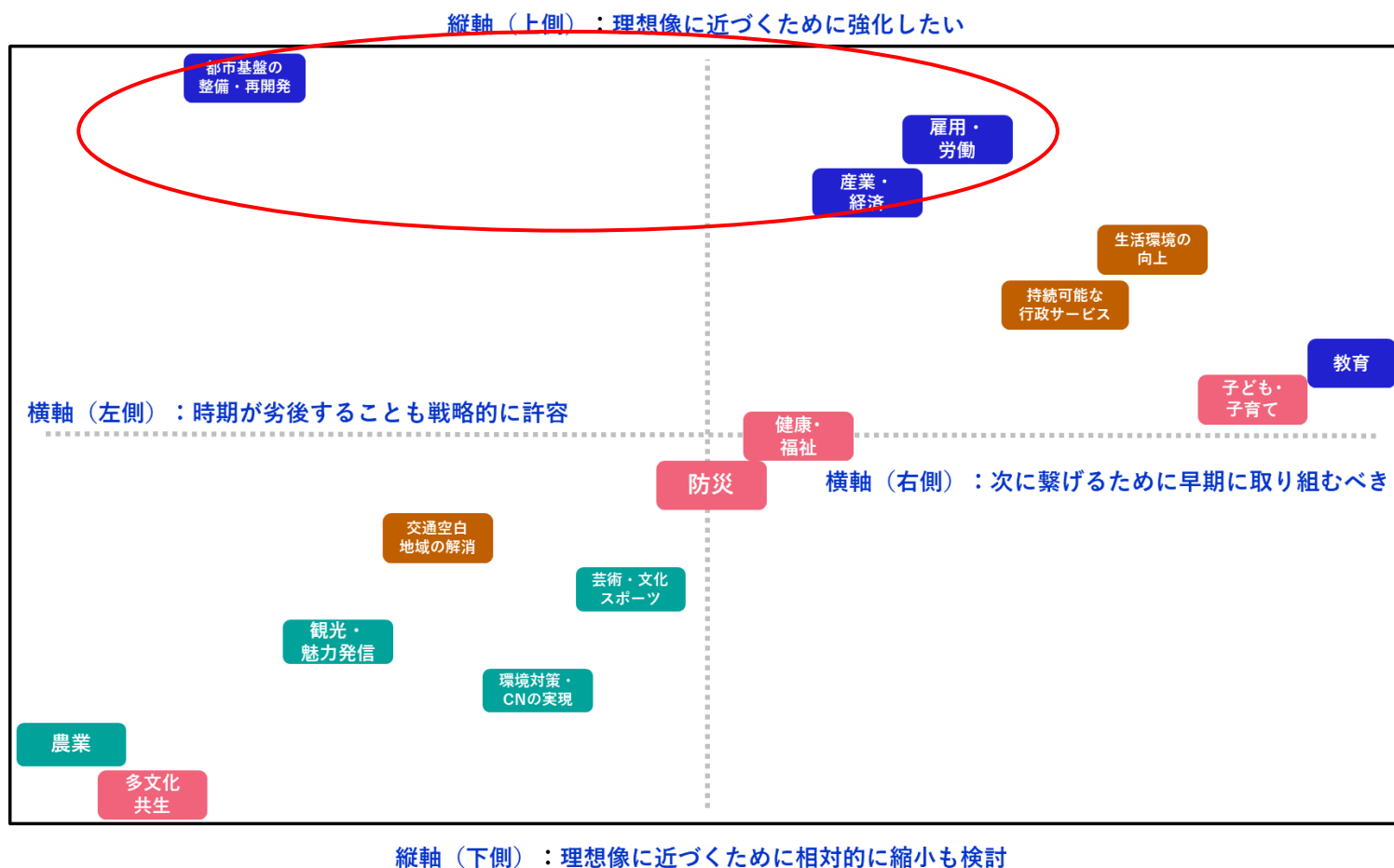
（左側：時期が劣後することも戦略的に許容）

- ・ **環境対策・カーボンニュートラルの実現**への取り組みは人口の流入に直結しない
- ・ **多文化共生**への取り組みは子育て世代の流入に繋がるかは未知数
- ・ **農地**よりも、開発して人を呼び込みたい



# 投票結果②

- 得票数が2番目に多い案③は、重要だが時間を要する都市基盤の整備・再開発の順番の優先度を下げ、人材づくりや最低限の生活環境の早期充実を目指すロードマップです。



## 案③ 得票数：2位

〈縦軸：強弱〉

- ・ 将来的にも都市基盤の充実を進めていきたい
- ・ 市民の生活環境を整える観点でために、雇用労働は重要

〈横軸：順番〉

（右側：早期に取り組む）

- ・ 将来を担う人材づくりの観点から、早期に教育・子ども子育てに取り組む
- ・ 最低限の生活環境を整えるため、生活環境の向上・持続可能な行政サービスへの取り組みを優先。同様の理由から、雇用・労働、産業・経済にも早めに着手する

（左側：時期が劣後することも戦略的に許容）

- ・ 取り組みを継続する必要性は高いが、時間がかかる分野として都市基盤の整備・再開発は取り組み時期が劣後
- ・ 生活環境が整った後からついてくるニーズとして、農業や多文化共生の取り組み優先度は下げている

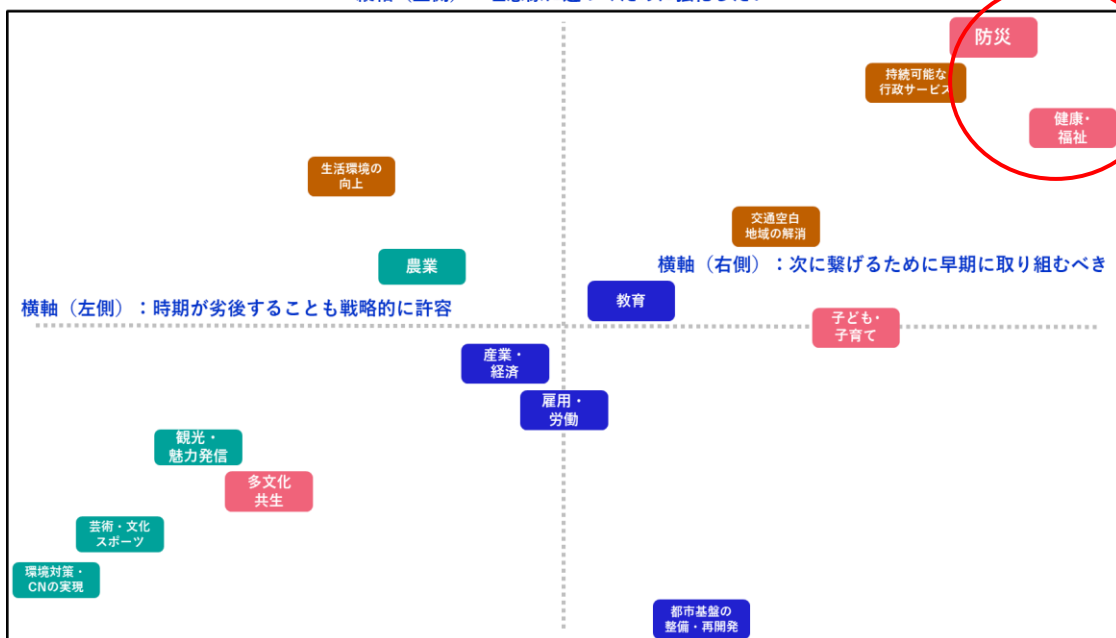


# 投票結果③

## 案⑤

得票数：3位

縦軸（上側）：理想像に近づくために強化したい



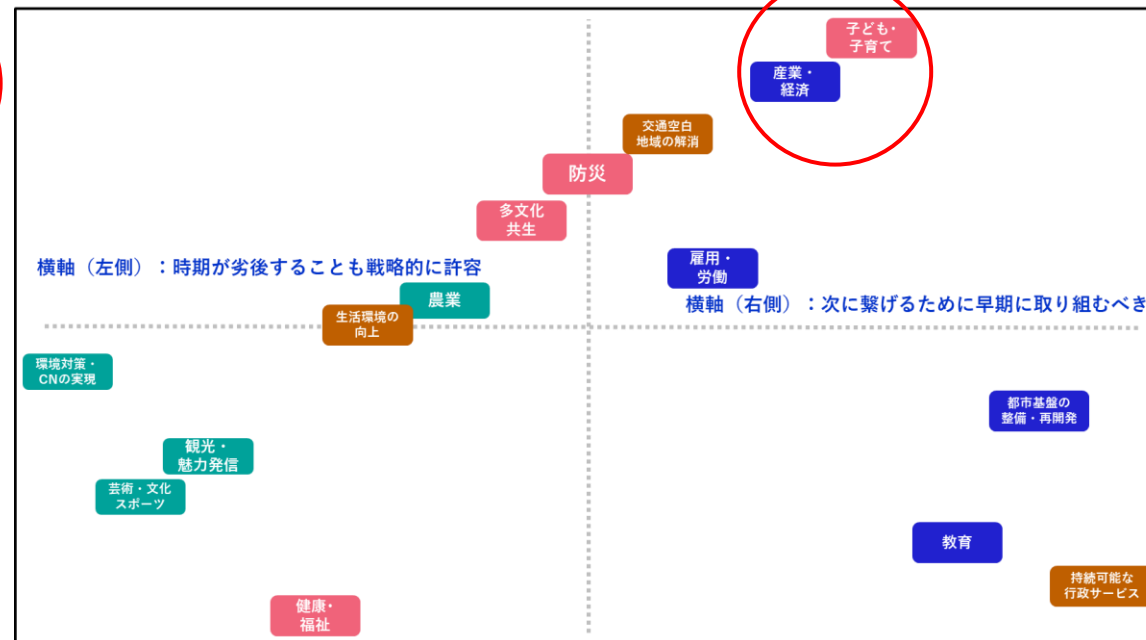
縦軸（下側）：理想像に近づくために相対的に縮小も検討

- 〈横軸：順番〉 **行政サービス**の提供体制は全ての土台のため早期着手  
担い手がいる今のうちに、**防災**の取り組みを進めておく
- 〈縦軸：強弱〉 激甚化・頻発化する災害を踏まえ、**防災**の取り組みに更に  
力を入れる  
**行政サービス**の提供体制は全ての土台のため将来的にも注力

## 案①

得票数：4位

縦軸（上側）：理想像に近づくために強化したい

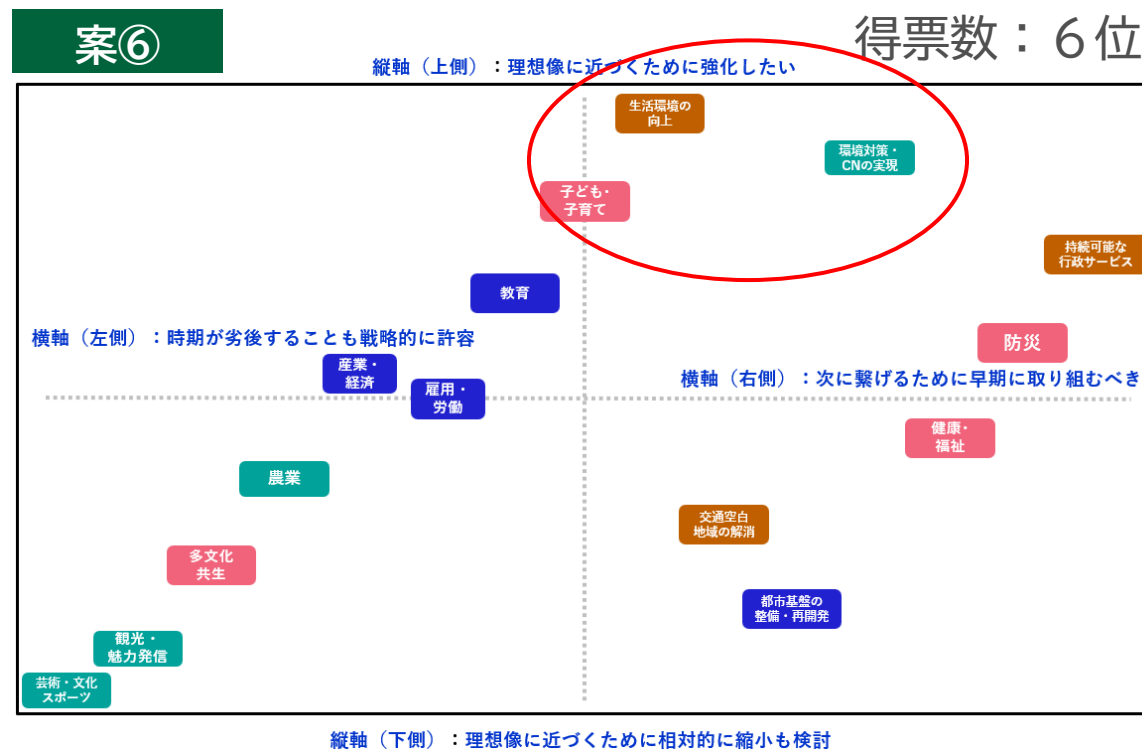
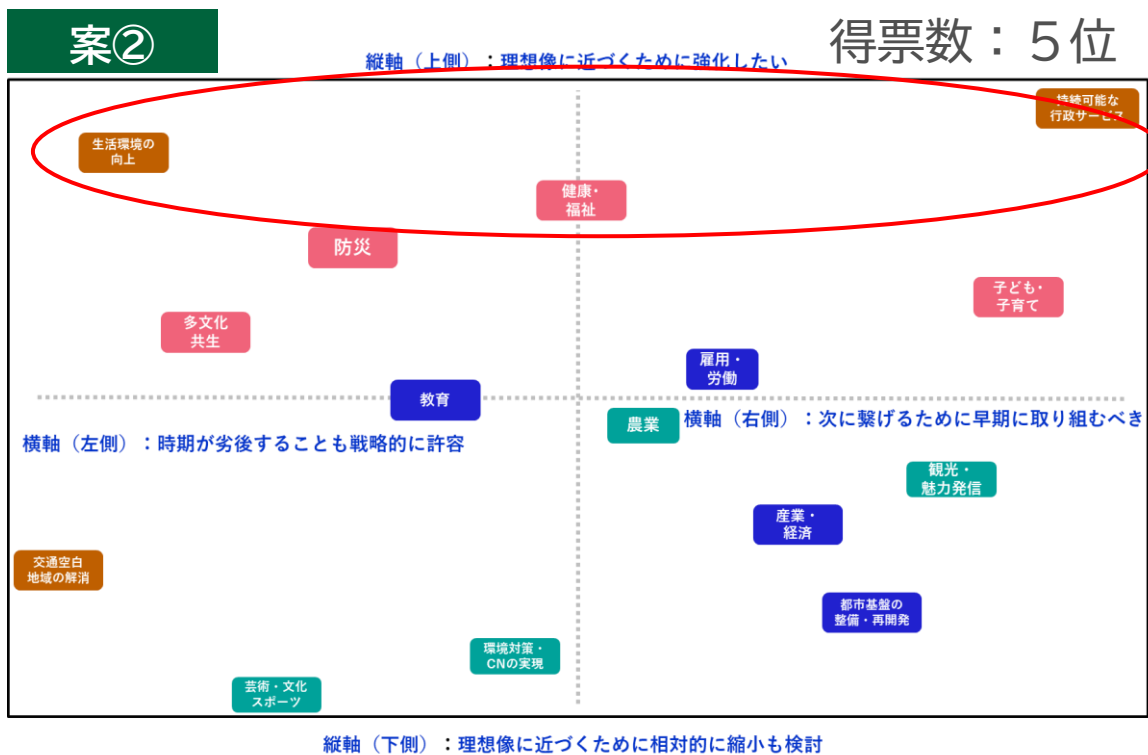


縦軸（下側）：理想像に近づくために相対的に縮小も検討

- 〈横軸：順番〉 **行政サービス**の提供体制は全ての土台のため早期着手  
**都市基盤**（インフラ）の充実が他の政策に波及する
- 〈縦軸：強弱〉 人口減少を止めるために、**子ども子育て**の取り組みを強化する  
地域経済を長く維持するために、**産業経済**の発展は重要



# 投票結果④



- 〈横軸：順番〉 **行政サービス**の提供体制は全ての土台のため早期着手  
子育て世代の早期取込を図るため**子ども子育て**に早期着手
- 〈縦軸：強弱〉 **行政サービス**の提供体制は全ての土台のため将来的にも注力  
住民生活の安定が、ともに支え合う・想い合えることにつながるため、**生活環境の向上**への取り組みに中長期的に力を入れる

- 〈横軸：順番〉 **行政サービス**の提供体制は全ての土台のため早期着手  
担い手がいる今のうちに、**防災**の取り組み進めておく
- 〈縦軸：強弱〉 住民生活の安定が、ともに支え合う・想い合えることにつながるため、**生活環境の向上**への取り組みに中長期的に力を入れる  
住環境や企業活動の基礎となる**環境対策**を徹底する



# その他自由意見

都市基盤の整備  
・再開発



生活環境の  
向上



持続可能な行政サービス

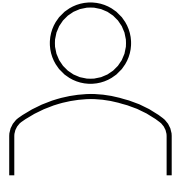
市役所



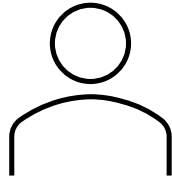
交通空白  
地域の解消



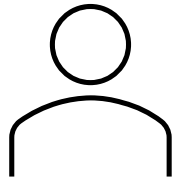
生活環境の  
向上



大企業跡地や空き家、空き家増加が見込まれるエリアについて、どんな選択肢があり得るのか、都市計画の方針を考えていくべき。



市民主体を育むために、小規模多機能自治（地域課題を住民自らが事業化して解決するための仕組み）を、一部地域で実験的に取り入れてみてはどうか。



公共交通はまち・コミュニティを豊かに維持するための必要なコストであるという認識への転換と、公共交通を財政的に支えるしくみが必要。

# 第3回市民ワークショップ 「あつまれ！ひの戦略ラボ」

---

2026/3/22



日野市  
Hino City

# 第3回市民WS 「あつまれ！ひの戦略ラボ」

## ■ 開催日時

令和8年3月22日(日) 13時30分～16時00分

## ■ 会場

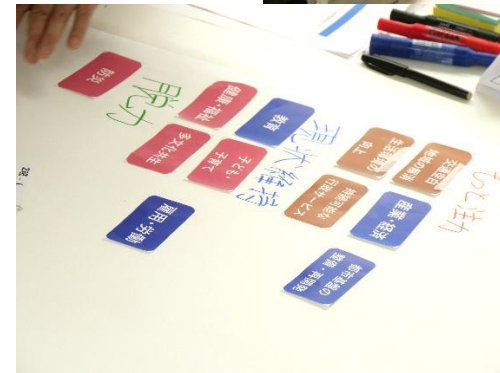
子ども包括支援センター「みらいく」3階 多目的室1～3

## ■ 参加者

公募市民14名／20名

## ■ プログラム

- 第2回市民WSの振り返り・第2回庁内WSの共有
- 日野市地域共創PF意見募集/投票募集内容の共有
- ワークショップ
  - 「チームの理想の未来の実現に向け、政策テーマの取り組みの優先順位(強弱)を考える」  
自身の班の政策テーマ以外について、優先順位を検討しました



# アウトプット：1班

1班「誰一人取り残さない、ともに支え合えるまち」では、「教育」・「生活環境の向上」へ特に注力することが、理想の未来の実現につながるという検討結果となりました。

健康・福祉

子ども・子育て

多文化共生

防災

## (1) テーマの強弱（優先順位）

分類 A  
もっと注力

生活環境

芸術文化  
スポーツ

産業  
経済

教育

分類 B  
現状維持

農業

行政  
サービス

雇用  
労働

分類 C  
脱力

交通  
空白

環境  
対策

都市基盤  
再開発

観光・  
魅力発信

## (2) 特に注力する・脱力する政策テーマと理由（分類A 2つ/C 1つ）

もっと注力

教育

理想の未来（市民WS②）  
楽しそうな子ども

- できるだけ多くの子供達が、学校生活を楽しみ、外遊びができるようになる等

- 子どもが楽しいと思える教育を通じて、子育て世代が増える
- 学校・校区を基盤とした年齢を問わないコミュニティ
- 教育プログラムの提供
- 子育て世代の孤立を防ぐ、コミュニケーションの場として、教育を活用する

生活環境

理想の未来（市民WS②）  
企業・自治体・住人

- 企業も市民として共存する
- 生活支援・同行支援のサービス拡充・人材育成 等

- 企業がセンサを身近な環境に導入し管理する
- 生活環境の向上を通じて、企業が成長しやすい環境をつくる
- 訪問スーパーによる生活支援
- 自分自身で望ましい環境をつくるタクティカル・アバーニズム

脱力

環境対策

- 現状、十分に取組みしており、市民の環境意識も高い
- ゴミの対策は現状でOK
- 既に充実した独自の取組みや市民活動がある



# アウトプット：2班

2班「自然と文化の魅力を誇れるまち」では、「生活環境の向上」・「産業・経済」へ特に注力することが、理想の未来の実現につながるという検討結果となりました。

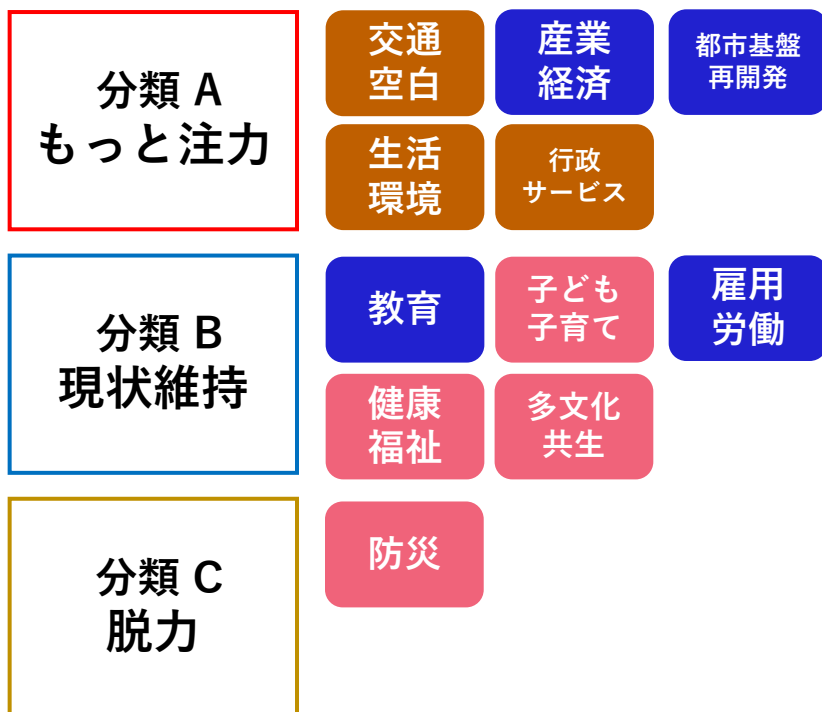
観光・魅力発信

農業

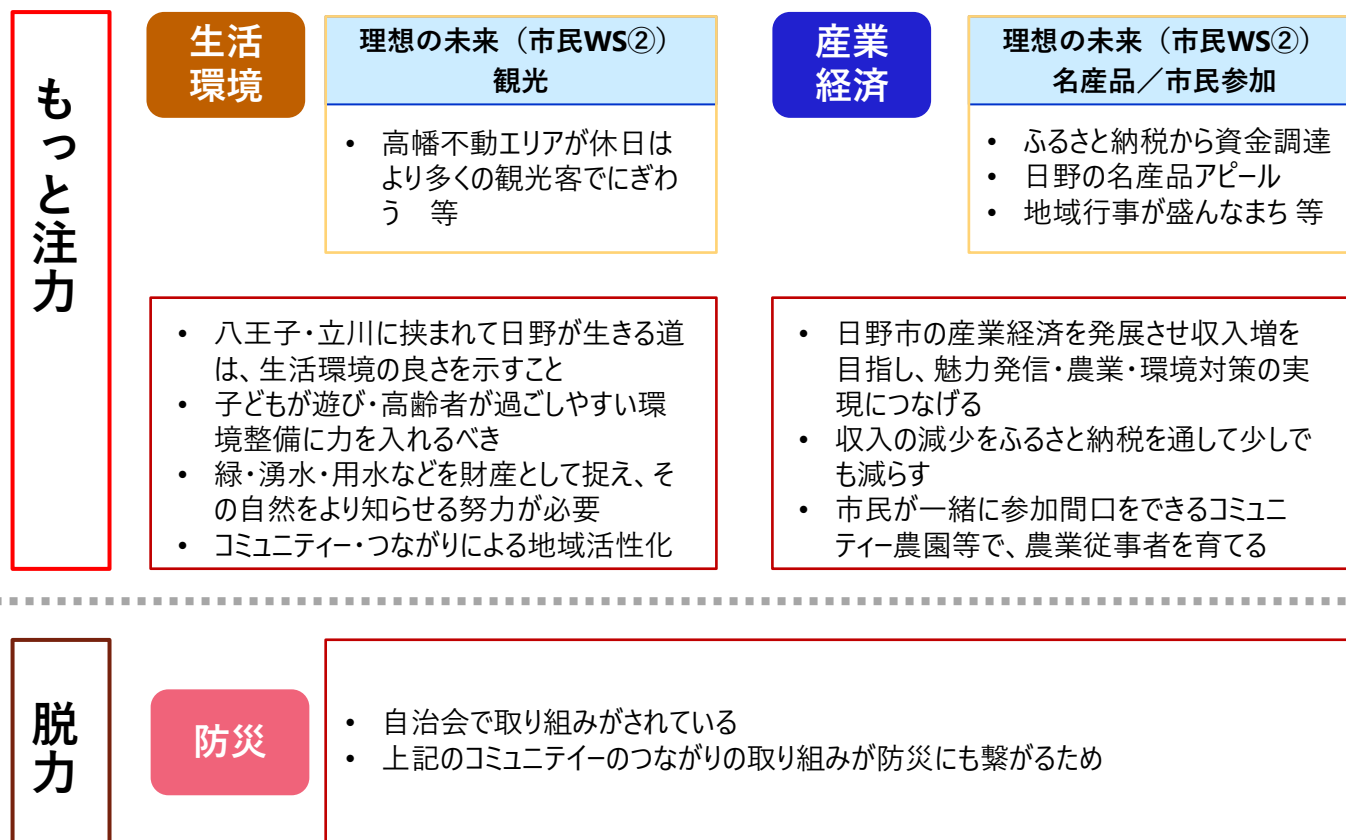
芸術・文化・スポーツ

環境対策・CNの実現

## (1) テーマの強弱（優先順位）



## (2) 特に注力する・脱力する政策テーマと理由（分類A 2つ/C 1つ）



# アウトプット：3班

3班「住み・学び・働き・活躍できるまち」では、「健康・福祉」・「持続可能な行政サービス」へ特に注力することが、理想の未来の実現につながるという検討結果となりました。

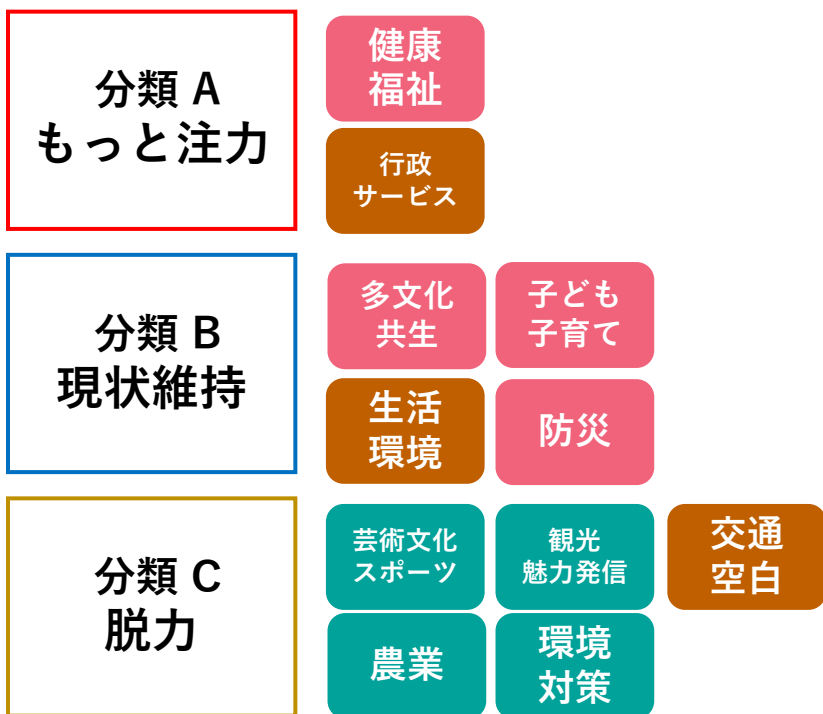
教育

産業・経済

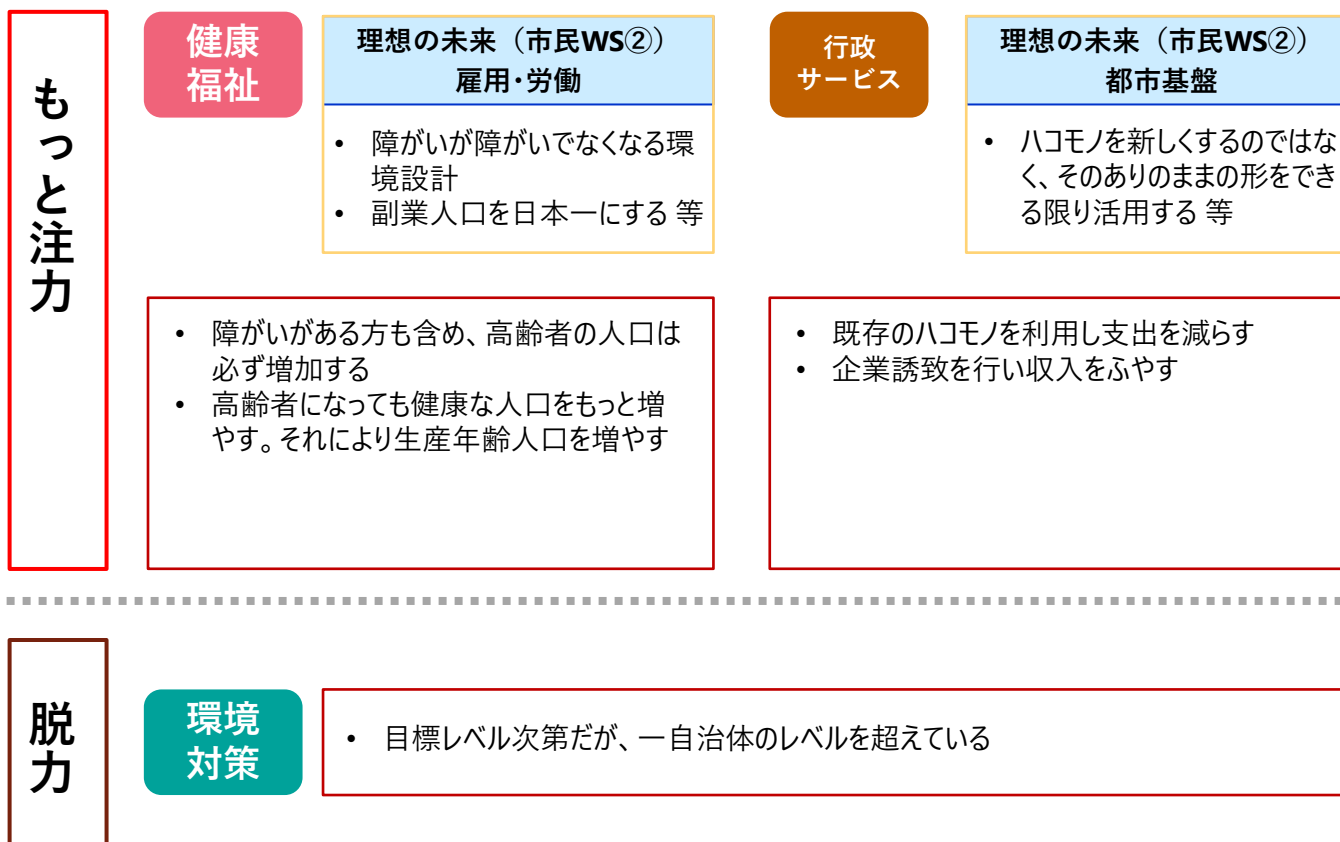
雇用・労働

都市基盤の  
整備・再開発

## (1) テーマの強弱（優先順位）



## (2) 特に注力する・脱力する政策テーマと理由（分類A 2つ/C 1つ）



# アウトプット：4班

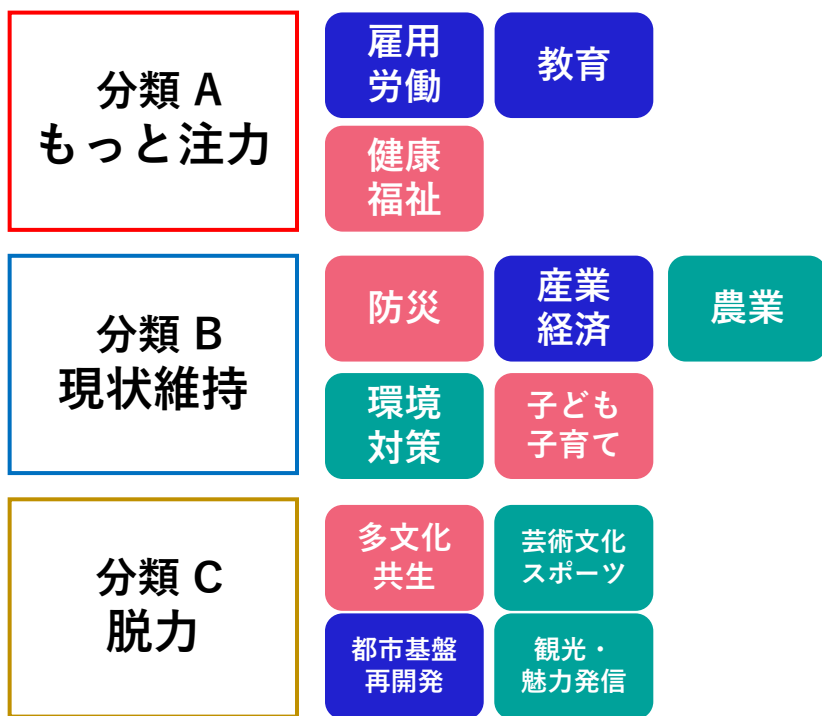
4班「いつまでも安心して住み続けられるまち」では、「雇用・労働」・「教育」へ特に注力することが、理想の未来の実現につながるという検討結果となりました。

交通空白地域の解消

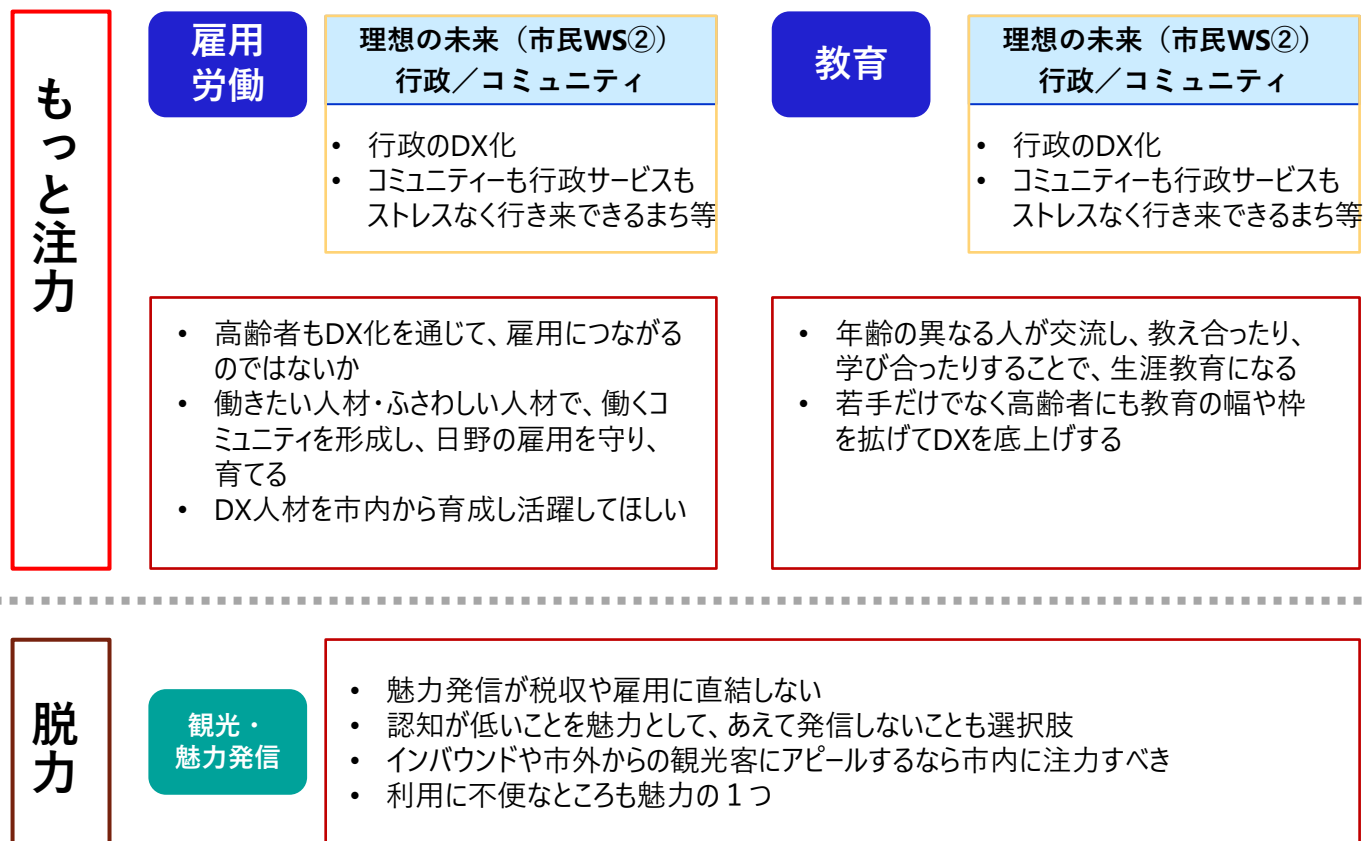
生活環境の向上

持続可能な行政サービス

## (1) テーマの強弱（優先順位）



## (2) 特に注力する・脱力する政策テーマと理由（分類A2つ/C1つ）



# 第3回庁内ワークショップ

---

2026/3/31



日野市

Hino City

# 第3回庁内WS

- 第3回庁内WSでは、「あるべき姿・KGIを実現するKSF」および「日々の業務（施策）とKSF・KGI・あるべき姿の実現への繋がり（庁内実務との接続）」について議論しました。

- 開催日時

令和8年3月31日（火） 14時00分～16時00分

- 会場

日野市役所本庁舎505会議室

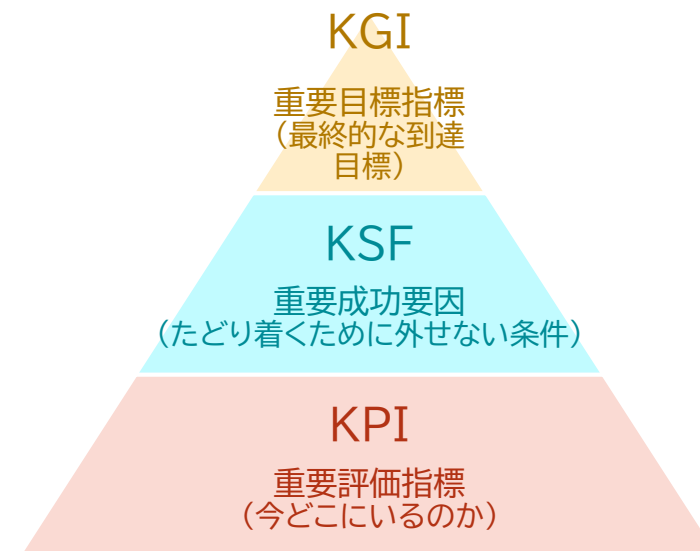
- 参加者

各部から職員29名（主事～係長級）

- プログラム

- （事前ワーク）「15個の政策テーマについて、自身の所属課が関連する施策を検討する」
- これまでの庁内WSの振り返り及び、日野市地域共創プラットフォーム意見募集・投票募集内容の共有
- 第3回市民WSの共有
- ワークショップ
  - あるべき姿・KGI（重要目標達成指標）を実現するKSF（重要成功要因）の検討
  - 日々の業務（施策）がKSFひいては、KGIの達成、あるべき姿の実現にどうつながるかの確認（庁内実務との接続）

あるべき姿の実現



グループ1 政策テーマ：

健康・福祉

あるべき姿 KGI	あるべき姿・KGI ①	あるべき姿・KGI ②	あるべき姿・KGI ③
KSF (重要成功要因)	<p>〈あるべき姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分らしく健康を保ち、暮らし続けられるまち</li> </ul> <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康寿命（平均自立期間）の延伸</li> </ul>	<p>〈あるべき姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>必ず誰かに届く支え合いの網が広がり、誰も孤立しないまち</li> </ul> <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会的孤立を感じている市民の割合の減少</li> </ul>	<p>〈あるべき姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者が多世代と共に活躍し、地域を力づけるまち</li> </ul> <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会的つながりを持つ高齢者の割合</li> </ul>
紐づく 施策	<p>KSF：自分の健康を自分で守れる市民が増える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経済的余裕がある</li> <li>住民が健康に関心を持つ機会・きっかけがある</li> <li>自分の健康状態を知ることができる</li> <li>DXを活用した健康教育・情報発信等でどこでも情報が取れる</li> </ul>	<p>KSF：誰もが安心して暮らせるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>悩みに合った相談先がある</li> <li>ニーズに合った団体がある</li> <li>外に出たくなる地域</li> <li>既存の民間施設、スタッフによる交流の場がある</li> <li>DXを活用した健康教育・情報発信等でどこでも情報が取れる</li> </ul>	<p>KSF：地域で長く暮らせる高齢者が増える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>つながりを作る住民（キーパーソン）を増やす</li> <li>地域内での高齢者の雇用</li> <li>挨拶できる雰囲気のある地域であること</li> <li>住民が自分たちのまちを作っている意識を持つ</li> <li>外に出たくなる地域</li> <li>既存の民間施設、スタッフによる交流の場がある</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策1 生涯を通じた健康づくりの推進</li> <li>施策2 疾病予防・早期発見体制の充実</li> <li>施策4 子ども・子育て世代の健康と医療支援</li> <li>施策12 経済的支援を通じた健康支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策3 暑熱・環境リスクに対する健康対策</li> <li>施策4 子ども・子育て世代の健康と医療支援</li> <li>施策5 障がいのある子どもへの支援体制の充実</li> <li>施策6 障がい福祉サービスの充実と質の確保</li> <li>施策7 障がい理解の促進と文化・生活支援</li> <li>施策8 地域福祉を支える基盤づくり</li> <li>施策9 地域交流を活かした健康づくり</li> <li>施策10 福祉・公共施設の安全性と利便性向上</li> <li>施策11 配慮を要する人の参政・社会参加支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策5 障がいのある子どもへの支援体制の充実</li> <li>施策6 障がい福祉サービスの充実と質の確保</li> <li>施策7 障がい理解の促進と文化・生活支援</li> <li>施策8 地域福祉を支える基盤づくり</li> <li>施策9 地域交流を活かした健康づくり</li> <li>施策10 福祉・公共施設の安全性と利便性向上</li> <li>施策11 配慮を要する人の参政・社会参加支援</li> </ul>



グループ1 政策テーマ：

防災

あるべき姿 KGI	あるべき姿・KGI ①	あるべき姿・KGI ②	あるべき姿・KGI ③
KSF (重要成功要因)	<p>〈あるべき姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが災害に備え、安心して暮らし続けられるまち</li> </ul> <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>避難行動計画の作成率</li> </ul> <p>KSF：災害を自分事、自分の地域で起こる可能性があると考えられる人が増える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分事として災害を捉え、備えることができる</li> <li>災害マニュアルを運用できるよう、訓練・見直し・改定していく</li> <li>挨拶できる雰囲気のある地域であること</li> <li>住民が自分たちのまちを作っている意識を持つ</li> </ul>	<p>〈あるべき姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いざという時に『助け合える』、地域のつながりが息づくまち</li> </ul> <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>災害時における近隣の助け合いへの信頼度（共助実感度）</li> </ul> <p>KSF：顔の見えるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>普段から地域ぐるみの付き合いがある</li> <li>自治会の加入に関わらず、つながれる仕組み</li> <li>薬局など医療機関との連携やつながり</li> </ul>	<p>〈あるべき姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域で安心安全を築き、助け合うまち</li> </ul> <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防災訓練への世帯参加率（実践的行動力）</li> </ul> <p>KSF：つながりやすいまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会の加入に関わらず、つながれる仕組み</li> <li>薬局など医療機関との連携やつながり</li> <li>DXによる連携や連絡ができています</li> <li>地域の道など、誰もが分かりやすい環境がある</li> </ul>
紐づく 施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策1 災害に強い地域づくりと防災意識の向上</li> <li>施策2 地域・家庭における自助・共助の推進</li> <li>施策5 災害時の避難環境と避難所機能の充実</li> <li>施策6 要配慮者・要支援者への防災支援体制の整備</li> <li>施策7 ペット等多様な避難ニーズへの対応</li> <li>施策9 公共施設の耐震化と防災機能の強化</li> <li>施策11 災害時の支援・救済体制の整備</li> <li>施策13 災害の記録・検証と教訓の継承</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策2 地域・家庭における自助・共助の推進</li> <li>施策4 地域資源を活用した防災機能の強化</li> <li>施策8 医療・保健分野における防災体制の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策2 地域・家庭における自助・共助の推進</li> <li>施策3 防災訓練と防災教育の充実</li> <li>施策8 医療・保健分野における防災体制の整備</li> <li>施策10 都市インフラの防災・減災対策の推進</li> <li>施策12 災害時の組織対応力と業務継続体制の強化</li> </ul>



グループ2 政策テーマ： **子ども・子育て**

あるべき姿 KGI	あるべき姿・KGI ①	あるべき姿・KGI ②	あるべき姿・KGI ③
KSF (重要成功要因)	<p>KSF：子どもも親も相談しやすい環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>誰かがいつでも話を聞いてくれる環境がある</li> <li>子育ての悩みを相談しやすい環境がある</li> <li>特性がある子の早期発見（必要な支援につなげられる）</li> </ul>	<p>KSF：子育てのしやすいまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子育て家庭の支援（保護者の幸せ）</li> <li>学童・給食費など、子どもの育成にかかる費用の公費負担</li> <li>子育て支援サービスが充実している</li> <li>子育て支援を活用しやすい環境が整っている</li> </ul>	<p>KSF①：子どもの意見を取り入れる姿勢がある KSF②：子育てのしやすいまちづくり 等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもからの発信・声を活かした活動の充実</li> <li>行政との対話の場が設けられている</li> <li>子どもの権利が守られる環境</li> <li>子育て家庭の支援（保護者の幸せ）</li> <li>学童・給食費など、子どもの育成にかかる費用の公費負担</li> <li>子育て支援サービスが充実している</li> <li>子育て支援を活用しやすい環境が整っている 等</li> </ul>
紐づく 施策	<p>〈子ども・子育て〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施策8 相談支援体制の充実と早期対応</li> <li>施策9 配慮が必要な子どもと家庭への包括的支援</li> </ul> <p>〈教育〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施策5 子ども・若者の健全な成長と社会性の育成</li> </ul>	<p>〈子ども・子育て〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施策2 不妊・出産に関する支援の充実</li> <li>施策3 保育ニーズに応じた受け皿確保と保育の質向上</li> <li>施策5 子どもの居場所・遊び場の充実</li> </ul>	<p>〈子ども・子育て〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施策2 不妊・出産に関する支援の充実</li> <li>施策3 保育ニーズに応じた受け皿確保と保育の質向上</li> <li>施策5 子どもの居場所・遊び場の充実</li> <li>施策11 子どもの権利擁護と意見表明の仕組みづくり</li> </ul> <p>〈教育〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施策5 子ども・若者の健全な成長と社会性の育成</li> <li>施策6 若年層の主権者意識と社会参画意識の醸成 等</li> </ul>



グループ2 政策テーマ：

教育

あるべき姿  
KGI

あるべき姿・KGI ①

- 〈あるべき姿〉
- 子どもが未来を切り開く力を育めるまち
- 〈KGI〉
- 自ら課題を発見し、解決しようとする姿勢を持つ子どもの割合

あるべき姿・KGI ②

- 〈あるべき姿〉
- 地域・家庭・学校が学びをともに支えるまち
- 〈KGI〉
- 地域・家庭と連携した学校教育・社会教育活動への満足度

あるべき姿・KGI ③

- 〈あるべき姿〉
- 幼児期から小学校まで教育が途切れず一人ひとりの個性が育まれるまち
- 〈KGI〉
- 幼保小接続に関する教育・保育実践の実施校・園率

KSF  
(重要成功要因)

- KSF①：学習のDX化  
KSF②：子どもの意見を取り入れる姿勢がある

- 子どものネットリテラシーの向上
- デジタルで家庭と教育の場がつながっている
- 遠隔授業の導入、通信による義務教育など、オンラインによる学習のサポート
- 子どもからの発信・声を活かした活動の充実
- 行政との対話の場が設けられている
- 子どもの権利が守られる環境

- KSF①：地域と学びのつながりがある  
KSF②：学習のDX化

- 地域と連携した体験活動を増やす
  - 地域住民・保護者に、保護者による見守りの場
  - 多様な学びと体験の保障
  - 地域循環、地域力の向上
  - 子どものネットリテラシーの向上
  - デジタルで家庭と教育の場がつながっている
- 等

KSF：切れ目のない教育

- 切れ目のない支援をするための行政等の連携
- 幼稚園・保育園・小学校との情報連携が取れている

紐づく  
施策

- 〈教育〉
- 施策1 誰一人取り残さない学習環境と就学支援の充実
  - 施策2 学校施設・教育環境の計画的整備と機能向上
  - 施策4 学びを支えるネットワークと学習機会の充実
  - 施策6 若年層の主権者意識と社会参画意識の醸成
  - 施策7 学びを支える学習資源の充実

- 〈子ども・子育て〉
- 施策11 子どもの権利擁護と意見表明の仕組みづくり

- 〈教育〉
- 施策1 誰一人取り残さない学習環境と就学支援の充実
  - 施策2 学校施設・教育環境の計画的整備と機能向上
  - 施策4 学びを支えるネットワークと学習機会の充実
  - 施策7 学びを支える学習資源の充実

- 〈子ども・子育て〉
- 施策6 多様な学びと体験を通じた子どもの成長支援
  - 施策7 地域全体で子ども・子育てを支える仕組みづくり
  - 施策10 子育てにおける多様な担い手の参画促進

- 〈教育〉
- 施策3 子どもの教育が途切れない体制の確立
- 〈子ども・子育て〉
- 施策1 妊娠期から乳幼児期までの切れ目のない健康・発達支援
  - 施策4 保育・児童関連施設の整備と安全な利用環境の確保



グループ3 政策テーマ： **雇用・労働**

あるべき姿 KGI	あるべき姿・KGI ①	あるべき姿・KGI ②	あるべき姿・KGI ③
KSF (重要成功要因)	<p>KSF：働きやすい環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DXが進んでいる</li> <li>テレワークを実施するスペースの増加</li> <li>時差出勤を取り入れる（子育てもしやすい）</li> </ul>	<p>KSF①：休暇の取りやすい環境づくり KSF②：男性の家庭での活躍</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>組織に理解と余力がある</li> <li>男性の育休に対する理解がある</li> <li>家庭に合わせて自由に休暇が取れる仕組みがある（例：週に1回）</li> <li>男性への育児指導教室がある</li> <li>男性が行きやすい児童館などがある</li> </ul>	<p>KSF①：企業の理解・協力 KSF②：働きやすい環境が整っている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内の企業やお店に協力してもらい、高齢者・障がい者の仕事を創出する</li> <li>高齢者や障がい者が自宅でもできる仕事のサポート</li> <li>業務の分担やマニュアルがある</li> <li>普遍的な働き口を広げる</li> </ul>
紐づく 施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策1 多様で柔軟な働き方を支える就労環境の整備</li> <li>施策6 産業と共存する持続可能な就労・まちづくりの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策7 女性の活躍推進と継続就労の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策2 官民連携による雇用機会の創出と地域雇用の拡大</li> <li>施策3 就労支援体制の充実と安定した就職促進</li> <li>施策5 障がい者の就労機会拡大</li> </ul>



グループ3 政策テーマ：

農業

あるべき姿 KGI	あるべき姿・KGI ①	あるべき姿・KGI ②	あるべき姿・KGI ③
KSF (重要成功要因)	<p>〈あるべき姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが農にふれ、楽しみ、育てる喜びを分かち合えるまち</li> </ul> <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民農園・体験農園・農イベントの参加者数</li> </ul>	<p>〈あるべき姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが日野の食材を味わい、農の価値が未来へつながるまち</li> </ul> <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食における市内産農産物の活用割合</li> </ul>	<p>〈あるべき姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな農地が次世代へ受け継がれ、『ひのらしい都市農業』が息づくまち</li> </ul> <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都市農地（生産緑地）の維持面積率</li> </ul>
紐づく 施策	<p>KSF①：農に対する市民の理解が得られている KSF②：農業のエンタメ性が構築されている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民が農の必要性を感じている</li> <li>農園で作ったものをその場で食べられる</li> <li>農園で自分が作った野菜をその場で販売できるシステムがある</li> <li>収穫体験できる農家がいる</li> </ul>	<p>KSF：子どもたちが市内農産物に興味を持っている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもや親が地産地消を意識している</li> <li>市内の農産物に対して興味を持つ</li> </ul>	<p>KSF①：農業者への経営支援体制がある KSF②：担い手を確保できている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スマート農業化</li> <li>農業を仕事にできる、稼げる</li> <li>農家の方への資金補助がある</li> <li>農地の貸借ができる</li> <li>高齢者や障がい者、その他の方にフリーに手伝ってもらえる仕組みがある（アルバイト等）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策5 農業と交流を生む拠点づくりの推進</li> <li>施策7 農業への理解促進と関係人口の創出</li> <li>施策8 次世代への農業・食の学びの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策6 市内農産物の消費促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策1 担い手となる農業者の確保・育成と経営支援</li> <li>施策2 多様な担い手が活躍できる農業環境づくり</li> <li>施策3 農地の維持・保全と有効活用の推進</li> <li>施策4 農地の集約化と効率的な利用の促進</li> </ul>



グループ4 政策テーマ： **芸術・文化スポーツ**

あるべき姿 KGI	あるべき姿・KGI ①	あるべき姿・KGI ②	あるべき姿・KGI ③
KSF (重要成功要因)	<p>〈あるべき姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが文化やスポーツを日常的に楽しめるまち</li> </ul> <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>週1回以上のスポーツ・文化活動実施率</li> </ul> <hr/> <p>KSF①：誰もが通いやすい施設がある KSF②：続けたい仕組みがある</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設のバリアフリー化</li> <li>施設の老朽改善</li> <li>身近な施設を使ったイベントを行う</li> <li>繰り返して来たい、続けたい仕組みづくり</li> </ul>	<p>〈あるべき姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>芸術・文化・スポーツを通じて新たなつながりが生まれるまち</li> </ul> <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>活動を通じて『新しい友人・知り合いができた』と回答する割合</li> </ul> <hr/> <p>KSF：芸術・文化・スポーツに関するイベントが定期的実施されている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単発ではなく定期的に行う事業を増やす</li> <li>イオンなど多くの人を巻き込むイベントの実施</li> </ul>	<p>〈あるべき姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民が地域の歴史・文化を牽引していくまち</li> </ul> <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域資源を活用した市民発案プロジェクトの実施数</li> </ul> <hr/> <p>KSF：市民が市の歴史・文化に触れ、学べる機会がある</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民が身近に市の歴史・文化について触れ、学ぶ機会がある</li> </ul>
紐づく 施策	<p>〈芸術・文化スポーツ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施策1 市民が参加・表現できる芸術・文化活動の推進</li> <li>施策6 文化・スポーツ施設の計画的整備と機能向上</li> <li>施策7 誰もが参加できる芸術・文化・スポーツ活動の推進</li> </ul>	<p>〈芸術・文化スポーツ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施策3 地域イベントを核とした芸術・文化・スポーツ交流の創出</li> <li>施策5 多世代が学び・交流できる文化・スポーツ環境の形成</li> </ul>	<p>〈芸術・文化スポーツ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施策2 地域資源を活かした文化・歴史の継承と発信</li> </ul> <p>〈観光・魅力発信〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施策8 イベント・観光と連動した文化サービスの展開</li> </ul>



グループ4 政策テーマ： **観光・魅力発信**

あるべき姿 KGI	あるべき姿・KGI ①	あるべき姿・KGI ②	あるべき姿・KGI ③
KSF (重要成功要因)	<p>〈あるべき姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然・歴史等の魅力に惹かれ、誰もが『また来たい』と感じるまち</li> </ul> <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光客のリピート率（再訪意向）</li> </ul> <p>KSF①：持続的に魅力発信を行っている KSF②：再び食べに来たいと思える食事の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>持続的に市の自然・歴史についての情報を得られる</li> <li>繰り返し来たくなる仕組みづくり</li> <li>また食べに来たいと思えるような食事・料理の開発・提供</li> </ul>	<p>〈あるべき姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『日野っていいな』と誇れるまち</li> </ul> <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シビックプライド（地域への誇りと愛着）指標</li> </ul> <p>KSF①：郷土への愛着を育てる仕組みがある KSF②：文化資源が持続的に整備されている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民が地域の歴史や誇れるものについて興味や知識がある</li> <li>新撰組などの市外の人にも知っているものを絡めた事業を増やす</li> <li>誇れるものについて多様な分野にわたって“ネタ（文化財）”がある</li> </ul>	<p>〈あるべき姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民・事業者・みんなで作る観光のまち</li> </ul> <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光まちづくりに関わる市民・事業者団体の数</li> </ul> <p>KSF：住環境と調和した観光ルートが構築されている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住環境と調和した観光ルートを設定できる</li> </ul>
紐づく 施策	<p>〈観光・魅力発信〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施策1 地域資源を活かした観光・魅力発信の推進</li> <li>施策7 多様な広報手法による都市イメージ向上</li> <li>施策11 食を切り口とした魅力発信</li> </ul>	<p>〈観光・魅力発信〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施策2 文化財・歴史資産の魅力発信強化</li> <li>施策3 歴史・文化資源の調査・保全と活用</li> <li>施策8 イベント・観光と連動した文化サービスの展開</li> <li>施策10 観光・魅力発信を通じた郷土愛・誇りの醸成</li> </ul> <p>〈芸術・文化スポーツ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施策2 地域資源を活かした文化・歴史の継承と発信</li> </ul>	<p>〈観光・魅力発信〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施策4 公共空間を活用したにぎわい創出</li> <li>施策5 地域主体による観光・まちの魅力づくり支援</li> <li>施策6 環境対策と連動した観光・環境情報の発信</li> <li>施策9 観光回遊性と景観向上を支える都市環境整備</li> </ul>



グループ5 政策テーマ： **産業・経済**

あるべき姿 KGI	あるべき姿・KGI ①	あるべき姿・KGI ②
KSF (重要成功要因)	<p>〈あるべき姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活課題から価値が生まれ、暮らしをより良くする事業が育つまち</li> </ul> <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の生活課題を解決する新規事業・創業の数</li> </ul> <p>KSF①：起業・新規事業にチャレンジしやすい制度整備 KSF②：市民と事業者のコミュニケーションの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「起業」にチャレンジしやすい環境がある</li> <li>新規事業に取り組みやすい制度・地盤がある</li> <li>市民と事業者のコミュニケーションの場がある</li> <li>課題について、市民が意見を出し話し合う場がある</li> <li>事業をしたい人と困っている人がつながる機会がある</li> </ul>	<p>〈あるべき姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民と事業者が地域の活力を共に作る『共存・共栄のまち』</li> </ul> <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工業地域周辺の住民および事業者の『共存・共栄』に関する満足度</li> </ul> <p>KSF①：事業者の利益が地域に還元される仕組み KSF②：市民と事業者のコミュニケーションの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業者の利益が地域に還元される</li> <li>事業者と住民がWin-Winの関係になる</li> <li>市民と事業者のコミュニケーションの場がある</li> <li>課題について、市民が意見を出し話し合う場がある</li> <li>事業をしたい人と困っている人がつながる機会がある</li> </ul>
紐づく 施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策2 企業立地・投資促進による産業基盤の強化</li> <li>施策3 新たな産業・活動の創出とイノベーション促進</li> <li>施策4 産業育成を支える基盤・環境整備</li> <li>施策6 産業と市民をつなぐ学び・情報発信の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策1 市内産業の持続的発展と事業者支援の推進</li> <li>施策5 官民連携による地域経済の活性化</li> <li>施策6 産業と市民をつなぐ学び・情報発信の充実</li> </ul>



グループ5 政策テーマ：

環境対策・カーボンニュートラルの実現

あるべき姿 KGI	あるべき姿・KGI ①	あるべき姿・KGI ②
KSF (重要成功要因)	<p>〈あるべき姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの未来の自然環境を守る力を育てられるまち</li> </ul> <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境教育・生物多様性保全活動に参加する児童生徒数</li> </ul> <p>KSF①：環境教育の体制が整っている KSF②：環境意識を啓発する場がある 等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然に興味のある子どもが多い</li> <li>自然環境に関する教育の充実</li> <li>活動に興味を持てる場がある</li> <li>市民のごみ減量意識が高い</li> <li>面倒なごみの分別も我慢できる</li> <li>メリット・必要性を理解できる場がある 等</li> </ul>	<p>〈あるべき姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まち全体で資源を大切に循環させる意識が根づくまち</li> </ul> <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民1人1日あたりのごみ排出量</li> </ul> <p>KSF①：環境対策の取り組みへの参加機会 KSF②：資源循環の仕組みが整いごみが減る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティ農園等が身近にある</li> <li>ごみになるものが無くなる</li> <li>市民のごみ減量意識が高い</li> <li>面倒なごみの分別も我慢できる</li> <li>メリット・必要性を理解できる場がある</li> </ul>
紐づく 施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策6 次世代を担う人材への環境教育の推進</li> <li>施策9 生物多様性の保全と自然共生の推進</li> <li>施策10 環境意識の醸成と情報発信の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策1 循環型社会の形成による廃棄物削減の推進</li> <li>施策2 清潔で快適な都市環境の形成</li> <li>施策10 環境意識の醸成と情報発信の強化</li> </ul>



グループ5 政策テーマ： **生活環境の向上**

あるべき姿 KGI	あるべき姿・KGI ①	あるべき姿・KGI ②
KSF (重要成功要因)	<p>〈あるべき姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常の中で『人と人のあたたかいつながり』を実感できるまち</li> </ul> <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域コミュニティ拠点（地区センター等）の利用者数および活動グループ数</li> </ul> <p>KSF①：住民同士でコミュニティができている KSF②：デジタル化による施設予約の簡便化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近所との関係が良好であること</li> <li>ご近所さんのことを知っている（顔なじみの関係にある）</li> <li>“貸室”ではなく“居場所”として参加できる場が多い</li> <li>簡単に施設を予約できる仕組みが整っている</li> </ul>	<p>〈あるべき姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水・緑・歴史が息づく、美しい日野の街並みが次世代で続くまち</li> </ul> <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水・緑・歴史的景観の満足度および保全に関する市民参加度</li> </ul> <p>KSF①：市民が環境・歴史を学べる環境がある KSF②：魅力的な環境の情報発信がされている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民が日野の自然を愛してる</li> <li>日野の歴史・環境を学んだ子どもが育つ</li> <li>魅力的な生活環境・資源等の情報発信</li> </ul>
紐づく 施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策1 安全・安心に暮らせる地域生活環境の確保</li> <li>施策6 市民活動・地域共生による暮らしの質の向上</li> <li>施策7 知と情報へのアクセスによる豊かな生活の実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策5 環境に配慮した快適な暮らしの推進</li> <li>施策7 知と情報へのアクセスによる豊かな生活の実現</li> </ul>



グループ6 政策テーマ： **都市基盤の整備・再開発**

あるべき姿 KGI	あるべき姿・KGI ①	あるべき姿・KGI ②	あるべき姿・KGI ③
KSF (重要成功要因)	<p>〈あるべき姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域特性を踏まえたまちづくりを通じた、賑わいのあるまち</li> </ul> <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三大拠点（日野・豊田・高幡）の居住誘導区域内人口密度</li> </ul>	<p>〈あるべき姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者や自転車が安心して通行できる、人中心のまち</li> </ul> <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者・自転車通行の安全性および快適性に関する市民満足度</li> </ul>	<p>〈あるべき姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空き家がまちの魅力とにぎわいを育てる再生のまち</li> </ul> <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空き家・空き店舗のリノベーションおよび利活用件数</li> </ul>
紐づく 施策	<p>KSF：計画に基づいた、住宅と都市機能の集約を意図したまちづくりができている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三大拠点の基盤整備ができている</li> <li>立地適正化計画の策定</li> <li>容積率が高い</li> </ul>	<p>KSF：歩道や自転車専用道路の整備が充実している</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車専用道路の整備</li> <li>歩道の拡張整備</li> <li>自転車専用道路と歩道が分離されている</li> </ul>	<p>KSF：空き家バンクの利用が定着している</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空き家バンクの利用が定着している</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策1 都市構造の将来像に基づく計画的なまちづくりの推進</li> <li>施策3 駅周辺等の拠点形成による都市機能の集約・強化</li> <li>施策4 再開発事業の推進による土地利用の高度化</li> <li>施策5 公共施設の再編による効率的・持続可能な都市運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策2 都市施設・インフラの計画的な維持管理</li> <li>施策8 下水道・生活基盤の先行整備と強靱化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策6 良好な住環境の形成と住宅ストック対策の推進</li> <li>施策7 空き家の適正管理と利活用の推進</li> </ul>



グループ6 政策テーマ：

交通空白地域の解消

あるべき姿 KGI	あるべき姿・KGI ①	あるべき姿・KGI ②	あるべき姿・KGI ③
KSF (重要成功要因)	<p>KSF：交通不便地域の解消</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バスの増便</li> <li>バスの運転手の確保</li> <li>どこからでも保育園に通える</li> </ul>	<p>KSF：デマンド型交通が充実している</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シェアサイクルの充実</li> <li>コミュニティバスのルート充実</li> </ul>	<p>KSF：歩道や自転車専用道路の整備が充実している</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ウォーキングマップの拡大・充実</li> <li>自転車専用道路の整備</li> </ul>
紐づく 施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策6 公共交通を支える人材の確保と運行体制の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策1 地域公共交通の将来像に基づく交通網の再構築</li> <li>施策3 柔軟な移動手段の導入</li> <li>施策4 補完的移動手段の充実</li> <li>施策5 公共施設・既存資源を活用した地域交通の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策2 生活交通の確保</li> </ul>



グループ7 政策テーマ：

多文化共生

あるべき姿 KGI	あるべき姿・KGI ①	あるべき姿・KGI ②	あるべき姿・KGI ③
KSF (重要成功要因)	<p>〈あるべき姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様性を自然に尊重し合える、思いやりのあるまち</li> </ul> <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人権や男女平等に関する意識の肯定的な変化</li> </ul>	<p>〈あるべき姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国籍を問わず安心して暮らし続けたいと思える開かれたまち</li> </ul> <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人市民の地域満足度および定住意向</li> </ul>	<p>〈あるべき姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多文化交流が日常に根つき、誰もが交流を楽しめるまち</li> </ul> <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流活動・多文化理解イベントへの市民参加数</li> </ul>
紐づく 施策	<p>KSF：人権教育が市民に行き届いている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人権・男女平等の知識がある</li> <li>人権や男女平等について考える機会が増えている</li> </ul>	<p>KSF①：外国人が暮らしやすい環境がある</p> <p>KSF②：多文化への理解がある</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人向けの雇いが確保されている</li> <li>外国人向け保育・教育</li> <li>言語の壁なく住める環境がある</li> <li>通訳者の育成が進んでいる</li> <li>活動の周知ができています</li> <li>市民が多文化への関心がある</li> <li>多文化についての理解が進んでいる</li> </ul>	<p>KSF：国際交流活動がしやすい環境がある</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政と活動者及び対象者のつながりができている</li> <li>交流活動を行う人・団体が定着している</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策2 男女平等・人権の視点を踏まえた共生体制の充実</li> <li>施策3 外国人住民の生活支援と定住支援の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策4 多言語対応による情報・サービスアクセスの向上</li> <li>施策5 意思疎通支援と情報バリアフリーの推進</li> <li>施策7 外国人の教育・保育環境の充実</li> <li>施策9 公共施設・都市空間のバリアフリー化推進</li> <li>施策10 外国人住民の政治参加の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策1 多文化共生社会の形成に向けた意識醸成</li> <li>施策6 国際交流の活性化</li> <li>施策8 文化・学習資源を通じた多文化理解の促進</li> </ul>



グループ7 政策テーマ： **持続可能な行政サービス**

あるべき姿 KGI	あるべき姿・KGI ①	あるべき姿・KGI ②	あるべき姿・KGI ③
KSF (重要成功要因)	<p>KSF：コンパクトシティの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンパクトシティの実現</li> </ul>	<p>KSF①：行政におけるオンライン手続きの整備 KSF②：オンライン手続きの市民への浸透・普及</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オンライン申請が普及している</li> <li>既存手続きのDX化が進んでいる</li> <li>デジタルデバイドの解消</li> <li>ハード面・ソフト面両方の整備ができています</li> <li>PC・スマホの操作方法を学べる機会がある</li> <li>市民の情報リテラシーがある</li> <li>DXの考えが市民に根付いている</li> </ul>	<p>KSF：コンパクトシティの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンパクトシティの実現</li> </ul>
紐づく 施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策3 持続可能な公共施設運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策1 行政手続きのデジタル化と住民利便性の向上</li> <li>施策2 内部事務のDX推進による行政運営の効率化</li> <li>施策5 透明性と信頼性の高い行政運営の確保</li> <li>施策7 人材育成と学習する組織づくりの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策4 市有財産の戦略的活用による行財政基盤の強化</li> </ul>



# 第1回庁議ワークショップ

---

2026/4/9



日野市

Hino City

# 第1回庁議WS

## ■ 開催日時

令和8年4月8日（水） 16時00分～17時00分

## ■ 会場

庁議室

## ■ 参加者

職員17名（市長・副市長・教育長・部長級職員）

## ■ プログラム

- ・ 戦略の位置づけとこれまでの市民・庁内ワークショップの検討経過
- ・ ワークショップ「政策の優先順位」

➤ 日野市の理想像に近づくために、15個の政策テーマについて

「横軸：Must軸...どのテーマから着手すべきか（順番）」・「縦軸：Will軸...どのテーマを強化すべきか（強弱）」

をマッピング



# 庁議WS結果

	庁議1		庁議2		庁議3		庁議4	
	Must軸	Will軸	Must軸	Will軸	Must軸	Will軸	Must軸	Will軸
健康・福祉	5	6	-3	5	6	6	1	4
子ども・子育て	-3	1	-4	-3	5	5	0	0
多文化共生	0	-3	-7	-7	-7	-7	-1	3
防災	6	4	6	-6	7	7	6	6
観光・魅力発信	-5	-5	2	6	-4	-4	-4	-4
農業	-7	-7	3	3	1	1	-7	-6
芸術・文化スポーツ	4	5	-6	4	-5	-5	-5	-3
環境対策・カーボンニュートラルの実現	7	-2	4	-5	-6	-6	7	7
教育	-2	2	-5	-2	4	4	2	5
産業・経済	2	-1	5	2	2	2	4	1
雇用・労働	1	0	1	-4	0	0	3	-1
都市基盤の整備・再開発	3	7	7	7	3	3	5	2
交通空白地域の解消	-6	-6	-2	-1	-3	-3	-6	-5
生活環境の向上	-4	-4	-1	0	-2	-2	-2	-2
持続可能な行政サービス	-1	3	0	1	-1	-1	-3	-7

